

取扱説明書 操作・設定編

HDアナログディスクレコーダー

品番 WJ-HL316, WJ-HL308, WJ-HL304

●取扱説明書の構成について

・設置編：

必要な機器との接続や設置のしかた、簡単な設定方法について説明しています。

・基本編：

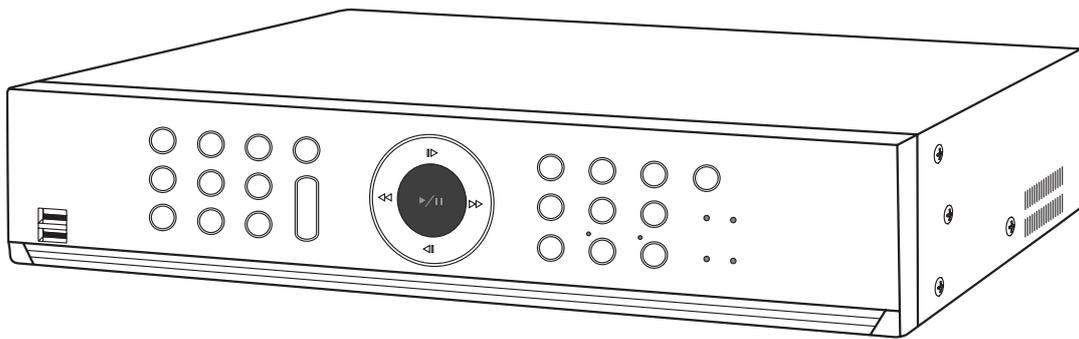
商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。
PDFファイル形式で以下のパナソニックサポートウェブサイトに掲載しています。

・操作・設定編（本書）：

本機を使用するにあたっての詳細な設定、および操作方法について説明しています。
PDFファイル形式で以下のパナソニックサポートウェブサイトに掲載しています。

パナソニックサポートウェブサイト

https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html



（イラストはWJ-HL316です）

本書では、品番の一部を省略している場合があります。

本書は、WJ-HL316、WJ-HL308、WJ-HL304のファームウェアバージョンV1.10に対応した取扱説明書です。

もくじ

はじめに	はじめに	5
	商品概要	5
	記号について	5
	取扱説明書について	5
	略称について	6
	本機の設定、操作について	6
	使用時の制約事項	6
	ご使用の前にお読みください	7
	動作検知機能について	7
	録画画像の時刻表示について	7
	マウス操作について	7
	再生時に表示される黒画について	7
	録画動作について	8
	前面パネルのボタン操作について	8

本体設定

設定の前に	本体設定について	9
	設定メニュー画面の表示方法	9
	設定メニュー画面の終了方法	9
	設定画面の操作方法	10

設定	システム設定を行う	11
	基本的な設定を行う [基本]	11
	簡単設定 (日付時刻・録画・ネットワーク) について	14
	日時に関する設定を行う [日付/時刻]	18
	ユーザーに関する設定を行う [ユーザー]	20
	ディスクに関する設定を行う [HDD]	22
	イベントに関する設定を行う [システムイベント]	23
	録画設定を行う	25
	基本的な設定を行う [基本]	25
	スケジュールの設定を行う [スケジュール]	26
	プレイメントに関する設定を行う [プレイメント]	29
	イベント設定を行う	30
	VMDの設定を行う [VMD]	30
	アラーム入力の設定を行う [アラーム入力]	32
	ビデオロスの設定を行う [ビデオロス]	32
	映像遮断の設定を行う [映像遮断]	33

もくじ (つづき)

設定	カメラ設定を行う	34
	基本の設定を行う [基本]	34
	PTZカメラの設定を行う [PTZ]	35
	装置の設定を行う	36
	音声の設定を行う [音声]	36
	アラーム出力の設定を行う [アラーム出力]	36
	その他の設定を行う [その他]	38
	ネットワークの設定を行う	39
	基本的な設定を行う [基本]	39
	LANの設定を行う [LAN]	40
	RTSPの設定を行う [RTSP]	42
	ブラウザの設定を行う [ブラウザ]	43
	通知の設定を行う	44
	メールの設定を行う [メール]	44
	スケジュールの設定を行う [スケジュール]	46
	表示の設定を行う	47
	OSDの設定を行う [OSD]	47
	メインモニターの設定を行う [メインモニター]	48
	スポットモニターの設定を行う [スポットモニター]	49
	メニュー項目一覧	50
	設定項目一覧 (設定メニュー)	51

本体操作

ライブ監視について	65
ライブ監視メニュー	65
PTZモード	68
電子ズームモード	69
多画面編集モード	70
イベント監視	70
非表示カメラ	70
スポット監視 (HL316)	71
情報 (OSD) 表示	71
ステータス監視	72
録画と録音について	73
録画	73
緊急録画	73
録音	73

もくじ (つづき)

再生について	74
検索について	76
検索メニュー	76
イベントログ検索	78
録画テーブル検索	80
動き検索	82
サムネイル検索	83
ブックマーク	84
クリップコピー	85
クリップコピー	85
A-Bクリップコピー	86

ネットワーク設定

ネットワーク設定を行う	87
本機のネットワーク設定を行う	87
PCのネットワーク設定を行う	87
ウェブブラウザの接続を行う	87

ブラウザ操作

ウェブ監視ページ	89
ウェブ検索ページ	92

その他

追補	94
重複した時間の映像検索	94
故障かな!?!	95

はじめに

商品概要

WJ-HL316、WJ-HL308、WJ-HL304（以下、本機）はそれぞれ最大16台、最大8台、最大4台の弊社製HDアナログカメラ／アナログカメラ（以下、カメラ）の映像をハードディスク（以下、HDD）に録画することができるHDアナログディスクレコーダーです。

本機は HDMI（High-Definition Multimedia Interface）に対応しているモニターを接続することができ、録画映像やカメラのライブ映像をより高品質で表示することができます。また、複数のカメラの映像をモニターに表示したり、カメラ映像を切り換えたりすることができます。

品番	HDD	接続カメラ台数
WJ-HL316	4 TB×2（ミラーリング不可、増設不可）	16台
WJ-HL308	2 TB×2（ミラーリング不可、増設不可）	8台
WJ-HL304	2 TB×1（ミラーリング不可、増設不可）	4台

記号について

本書では、以下の記号を使用して機能ごとに対応している機種を示しています。本記号が記載されていない機能については、すべての機種が対応しています。

HL316：WJ-HL316で使用可能な機能および仕様

HL308：WJ-HL308で使用可能な機能および仕様

HL304：WJ-HL304で使用可能な機能および仕様

取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書 設置編、取扱説明書 基本編、取扱説明書 操作・設定編（本書）、簡単操作ガイドで構成されています。

- 取扱説明書 設置編（紙取説）：必要な機器との接続や設置のしかた、簡単な設定方法について説明しています。
- 取扱説明書 基本編（PDF取説）：商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。
https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html
- 取扱説明書 操作・設定編（PDF取説）：本機を使用するにあたっての詳細な設定、および操作方法について説明しています。以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。
https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html
- 簡単操作ガイド（紙チラシ）：よく使う機能の操作方法について簡単に説明しています。

メモ

- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

はじめに（つづき）

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

Internet Explorer 11 日本語版をInternet Explorerと表記しています。

パーソナルコンピュータをPCと表記しています。

本機の設定、操作について

- 本機の設定・操作は、前面のUSBポートに接続したマウス（市販品）を使って行う方法と、前面のボタンを使って行う方法の2通りがあります。
- 本機の設定は、PCのウェブブラウザからも行うことができます。
- 本書では、該当する各ページに [本体設定]、[本体操作]、[ネットワーク設定]、[ブラウザ操作] のように小見出しを付けています。
- 本書は、WJ-HL316の画面を例に設定や操作を説明しています。

使用時の制約事項

本機には、各機能において以下のような制約事項があります。内容を確認の上、使用してください。

録画画像再生時

- 画像の再生中に以下の操作をすると、数秒間だけ再生時間が飛んで表示されることがあります。
 - カメラを切り換えたとき
- 日時検索をすると、指定した時刻の数秒前、もしくは数秒後から再生したり、次の録画データの先頭から再生されたりすることがあります。

録画時

- 録画開始の命令（イベント発生やスケジュール録画など）の発生時刻と、実際に録画される時刻（録画イベントリストの時刻）が数秒間ずれることがあります。
- プレ録画を設定している場合、設定した時間どおりに録画できないことがあります。

コピー時

録画画像をコピーする際、指定した開始日時より数秒前の画像からコピーされることがあります。

再生画像のダウンロード時

再生画像をダウンロードする際、指定した始点日時より数秒前の画像からダウンロードされることがあります。

USBメモリー使用時

USBメモリーを挿入後、認識するまで時間がかかることがあります。また、容量が大きいと認識に時間がかかります。

コピーした録画映像再生時

PC上でFull HDなど高解像度の映像を多画面表示で再生する場合、PCの負荷や性能不足などにより、なめらかに再生できないことがあります。

ご使用前にお読みください

動作検知機能について

カメラの動作検知（VMD：Video Motion Detection）機能は設定エリア内の輝度変化を元に画像内の動きを検知します。

以下のような場合、動作を検知しにくい、検知しない、または誤って検知する場合があります。

- 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない。
- 夜間など、画像の輝度が低い。
- 被写体の動きが遅い。
- 被写体が小さい。
- 屋外、窓際など外光の状態が変わりやすい。
- 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る。
- 蛍光灯がちらつく。
- 被写体に奥行きがある。

動作検知の設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間に検知状況を確認してください。また、検知しない場合や誤って検知する場合は、別途センサーを使用してください。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

録画画像の時刻表示について

本機の録画画像で表示される時間が飛んで表示されることがありますが、故障ではありません。また、再生している画像と本機で表示する時刻がずれることがありますが、故障ではありません。

マウス操作について

本機で多くの処理が同時に行われているとき、本機に接続したマウスでの操作の反応が、一時的に遅くなる場合がありますが、故障ではありません。

再生時に表示される黒画について

以下の場合、再生中に黒画が表示される場合がありますが、故障ではありません。

- 多画面表示時に、最新再生を行ったとき
- 多画面表示中に、カメラの選択を変更したとき

ご使用前にお読みください（つづき）

録画動作について

本機は以下の録画を行うことができます。

スケジュール録画 : 指定した曜日・時間帯に録画を自動で行います。

イベント録画 : 各種イベント（VMD、端子アラーム、ビデオロス、映像遮断）が発生したときに録画を自動で行います。

緊急録画 : 本機前面の〔緊急録画〕ボタンを押すか、ライブ監視メニューの〔緊急録画〕を選択すると、緊急時に優先的に録画／録音することができます。

重要

- 以下の場合には、約3秒間録画は行われませんが、故障ではありません。
 - 録画中に設定を変更して設定メニューを終了したとき

前面パネルのボタン操作について

本書の「前面パネルの～ボタンを押します。」や「前面パネルの～ボタンを押すと～」の記載は、前面パネルのボタンを押した後にすぐ離す操作を表しています。

また、「前面パネルの～ボタンを3秒以上押します。」や「前面パネルの～ボタンを3秒以上押し続けると～」の記載は、前面パネルのボタンを3秒以上押し続けた後に離す操作を表しています。

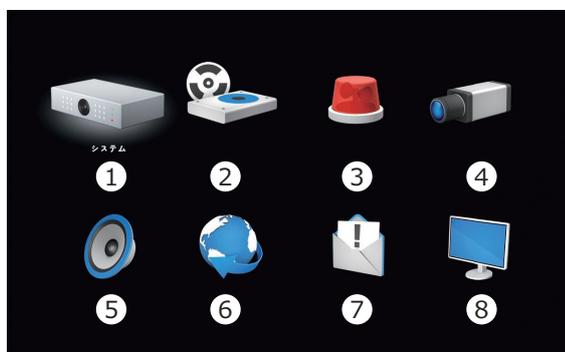
本体設定について

設定メニュー画面の表示方法

本機の電源を入れ、メインモニターにライブ監視画面を表示させます。次に前面パネルの〔設定〕ボタンを押してから  (再生/一時停止) ボタンを押すか、またはマウスカーソルを画面右端に移動して表示されるライブ監視メニューの  (設定) を選択して、左クリックすると、設定メニュー画面が表示されます。

重要

- 設定にはメインモニターが必要です。



設定メニュー画面

■ 設定メニュー

- | | |
|--------|----------|
| ① システム | ② 録画 |
| ③ イベント | ④ カメラ |
| ⑤ 装置 | ⑥ ネットワーク |
| ⑦ 通知 | ⑧ 表示 |

ログインしてない場合は、〔ログイン〕画面が表示されます。



[ユーザー名]

ソフトウェアキーボード (☞10ページ) からあらかじめ登録したユーザー名を入力します。

[パスワード]

ソフトウェアキーボード (☞10ページ) からあらかじめ登録したパスワードを入力します。

メモ

- ユーザー名、パスワードの登録については、取扱説明書 設置編の「電源を入れる」をお読みください。
- ユーザー名は半角英数字と記号で1文字以上15文字以内で設定してください。
- パスワードは半角英数字と記号で8文字以上15文字以内で設定してください。また、英字 (大文字)、英字 (小文字)、数字、記号のうち3種類以上を使用し、ユーザー名がパスワードに含まれないようにしてください。入力された文字はアスタリスクで表示されます。

[決定] ボタン

ユーザー名、パスワードが正しく入力されたとき、ボタンを押すとログインが完了します。

重要

- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。
- 管理者名、パスワードを忘れた場合は本体の初期化 (修理扱い) が必要です。

メモ

- ログアウトするときは、前面パネルの〔設定〕ボタンを押すか、またはマウスカーソルを画面右端に移動して表示されるライブ監視メニューで  (ログアウト) を選択します。ログアウト確認画面が表示されたら、〔ログアウト〕ボタンを押します。

設定メニュー画面の終了方法

設定メニュー画面で、前面パネルの〔設定〕ボタンを押すか、または画面上のアイコンのない場所でマウスを左クリックします。

本体設定について（つづき）

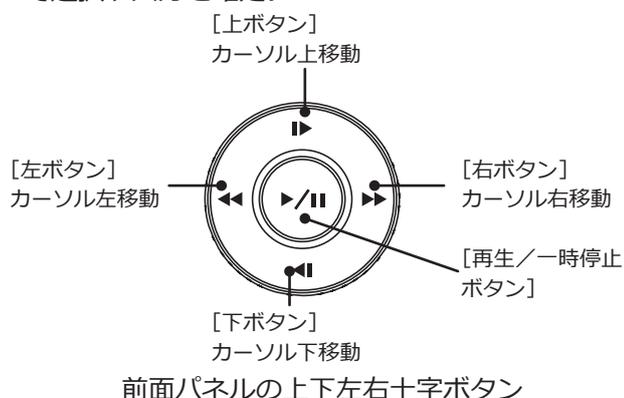
設定画面の操作方法

本機の画面操作は、前面パネルの上下左右十字ボタン（以下、十字ボタン）を使って操作する方法と、本機に接続したマウスを使って操作する方法の2通りの方法があります。

前面パネルからの操作

本書で、「～ボタンを押します」「～ボックスを選択します」と表記されている場合は、

- ① 前面パネルの十字ボタンを押してカーソル（強調表示）を移動。
- ② 十字ボタン中央の「再生／一時停止」ボタンを押して選択や入力を確定。



マウスからの操作

本書で、「～ボタンを押します」「～を選択します」と表記されている場合は、

- ① マウスカーソルを選択したい位置に合わせます。
- ② 左クリックして選択や入力を確定します。

ソフトウェアキーボードの操作について

設定項目の文字入力はソフトウェアキーボード（以下、ソフトキーボード）で行います。各設定画面にある入力欄右の  アイコンを選択すると、ソフトキーボードが表示されます。画面上の文字キーを選択することで文字を入力できます。



ソフトキーボード（英数字レイアウト）



ソフトキーボード（かなレイアウト）

[↑]

ボタンを押すと、英数字の大文字と小文字、またはかなとカタカナが切り換わります。

[←]

ボタンを押すと、直前の文字を削除します。

[✕]

ボタンを押すと、カーソル位置の文字を削除します。

[]

ボタンを押すと、キーボードレイアウト表示が切り換わります。

[決定]

ボタンを押すと、入力を確定しソフトキーボードを終了します。

[キャンセル]

ボタンを押すと、入力を確定せずにソフトキーボードを終了します。

メモ

- 文字入力欄にはスペースを含めて最大63文字まで入力できます。（かな、カタカナ文字の場合は最大31文字まで）

設定画面について

設定画面の左下に「←」が表示されている場合、「←」を選択すると表示されている画面を初期設定に戻すことができます。

設定を終えるときに「保存」を選択すると、変更を保存して終了します。変更を保存したくない場合は、「キャンセル」を選択して終了します。

システム設定を行う

システム設定では、基本情報、日時表示、ユーザー、HDD、イベントに関する設定や録画動作など、基本的な設定を行います。

基本的な設定を行う【基本】



【Language】

メインモニターおよびPCのウェブブラウザに表示する言語をドロップダウンメニューから選択します。

日本語/English

初期値：日本語

【バージョン】

バージョン番号

本機のソフトウェアバージョンが表示されます。

アップグレード...

選択すると「アップグレード」画面（☞12ページ）が表示され、ソフトウェアのアップグレードができます。

【設定】

USBメモリーに保存された設定の読み込みや、現在の設定を保存します。

【読み込み...】

選択すると「設定読み込み」画面（☞12ページ）が表示され、設定の読み込みができます。

【保存...】

選択すると「設定保存」画面（☞12ページ）が表示され、設定の保存ができます。

システムログ表示...

選択すると「システムログ」画面（☞13ページ）が表示され、ログのリストが表示されます。

■録画データ

【開始】

録画データの始点の時刻が表示されます。

【終了】

録画データの終点の時刻が表示されます。

【全てのデータ削除...】 ボタン

ボタンを押すとすべての録画データが消去されます。消去する前に、すべてのデータを消去するかどうかの確認画面が表示されます。

メモ

- 【全てのデータ削除...】では、システムログは消去されません。

【簡単設定（日付/時間・録画・ネットワーク）】 ボタン

このボタンを押すと、ガイドに従って、本機の基本的な設定を行うことができます。（☞14ページ）

【システム終了】

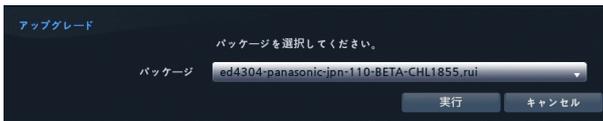
ボタンを押すと、システム終了の確認画面が表示されます。



確認画面の「システム終了」ボタンを押し、「システムが安全に終了されました。電源プラグを抜いて下さい」が表示されたら、電源プラグを電源コンセントから抜きます。

システム設定を行う（つづき）

■ アップグレード



ソフトウェアをアップグレードするには、事前にアップグレードファイルを含むUSBメモリーを本機前面のマウス/コピーポートに接続します。

重要

- 本機にはFAT32でフォーマットされたUSBメモリーを使用してください。
- アップグレードファイルは、USBメモリーの割り当てドライブ直下においてください。

【パッケージ】

拡張子「.rui」のアップグレードファイルを選択します。

【実行】 ボタン

ボタンを押すと、選んだソフトウェアパッケージがインストールされます。

【キャンセル】 ボタン

ボタンを押すと、ソフトウェアをアップグレードせずにウィンドウを閉じます。

メモ

- アップグレードが終了すると、システムは自動的に再起動します。

■ 設定読込



事前に設定ファイルが保存されているUSBメモリーを本機前面のマウス/コピーポートに接続します。

重要

- 本機にはFAT32でフォーマットされたUSBメモリーを使用してください。

【ファイル名】

拡張子「.dat」の設定ファイルを選択します。

【ネットワーク設定を含む】

チェックを入れると、ネットワーク設定も読み込まれます。

【実行】 ボタン

ボタンを押すと、選んだ設定ファイルが読み込まれ、本機の設定が変更されます。

【キャンセル】 ボタン

ボタンを押すと、設定ファイルを読み込まずにウィンドウを閉じます。

メモ

- 保存された設定を読み込んでも、日付/時刻の設定は変更されません。

■ 設定保存



事前に空き容量のあるUSBメモリーを本機前面のマウス/コピーポートに接続します。

重要

- 本機にはFAT32でフォーマットされたUSBメモリーを使用してください。

【ファイル名】

設定ファイル名を入力します。

【実行】 ボタン

ボタンを押すと、選んだ設定ファイルがUSBメモリーに保存されます。

【キャンセル】 ボタン

ボタンを押すと、設定ファイルを保存せずにウィンドウを閉じます。

システム設定を行う（つづき）

■システムログ



時間	内容
2020/03/05 19:08:21	設定開始
2020/03/05 19:00:38	システム起動
2020/03/05 19:00:29	ログイン: admin
2020/03/05 18:59:00	システム再起動
2020/03/05 18:58:59	ログアウト: admin
2020/03/05 18:58:59	設定終了
2020/03/05 18:58:56	アップグレード: 以前のバージョン 1.0.0
2020/03/05 18:56:07	設定開始
2020/03/05 18:56:04	設定終了
2020/03/05 18:55:06	設定開始
2020/03/05 18:55:03	設定終了
2020/03/05 18:54:27	設定開始
2020/03/05 18:54:07	システム起動
2020/03/05 18:53:53	ログイン: admin
2020/03/05 18:53:47	設定変更: カメラ

【キャンセル】ボタン

ボタンを押すと、システムログを保存せずにウィンドウを閉じます。

- システムログ画面には、動作状況（最新5,000件まで）が日付／時刻の順にリストアップされます。
- ログの内容については、「システムログ情報」（63ページ）を参照してください。
- 右端の列に  アイコンが表示されているときは、ウェブブラウザの動作状況を表示しています。

【ページ】

ページ番号を入力するか、▲▼ボタンでページを選択してログリストを表示します。

【保存...】

選択すると「システムログ保存」画面（ 本ページ）が表示され、システムログの保存ができます。

【▲】【▼】（スクロール）ボタン

ボタンを押すとログリストがスクロールします。

【閉じる】ボタン

ボタンを押すと、システムログ画面が終了します。

■システムログ保存



システムログ保存

ファイル名

事前に空き容量のあるUSBメモリーを本機前面のマウス／コピーポートに接続します。

【ファイル名】

システムログのファイル名をソフトキーボードから入力します。

【実行】ボタン

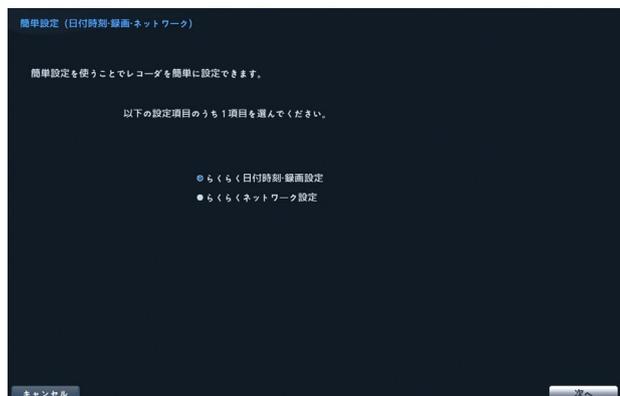
ボタンを押すと、システムログが「.txt」ファイルとしてUSBメモリーに保存されます。

システム設定を行う（つづき）

簡単設定（日付/時間・録画・ネットワーク）について

「簡単設定（日付/時間・録画・ネットワーク）」では、ガイドに従って、本機の基本的な設定を行うことができます。

システム設定の[基本]（☞11ページ）で「簡単設定（日付/時間・録画・ネットワーク）」を選択して、簡単設定を実行します。途中で[キャンセル] ボタンを押すと、簡単設定を中断することができます。



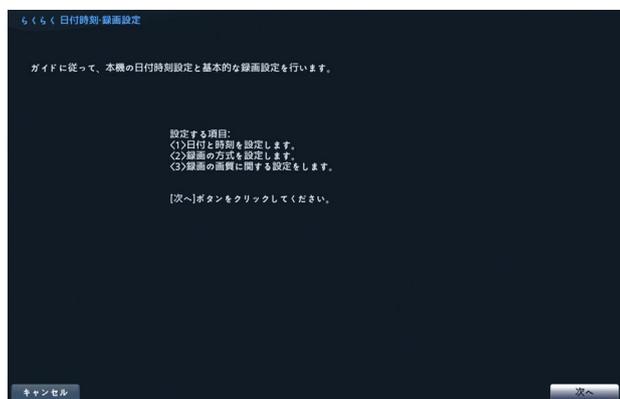
[らくらく日付/時間・録画設定]

本機の日付時刻と基本的な録画設定を行います。
(下記「**■らくらく日付/時間・録画設定**」を参照ください。)

[らくらくネットワーク設定]

本機のネットワーク設定を行います。
(☞16ページ「**■らくらくネットワーク設定**」を参照ください。)

■らくらく日付/時間・録画設定



「らくらく日付/時間・録画設定」では、画面の<1>～<3>の順番で日付時刻と録画に関する設定を行います。
[次へ] ボタンを押します。

重要

- 「らくらく日付/時間・録画設定」の録画設定は、「録画」－「スケジュール」の「簡単モード」として設定されます。「詳細モード」で登録されている場合は、「簡単モード」に切り換わるので、ご注意ください。

<1>日付時刻の設定



[日付]

日付を設定します。▲▼ボタンで数値を変更します。

[表示形式]

ドロップダウンリストから表示形式を選択します。

[時間]

時間を設定します。▲▼ボタンで数値を変更します。

[表示形式]

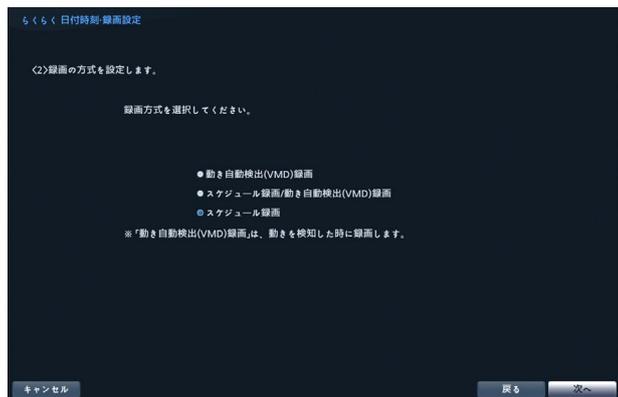
ドロップダウンリストから表示形式を選択します。

メモ

- 変更した日時設定は、[次へ] ボタンまたは [戻る] ボタンを押すことで反映されます。日時を変更せずに録画設定のみ行いたい場合は、日時を変更せずに [次へ] ボタンを押して次のガイドに従ってください。
- 日付時刻設定は、[システム]－[基本]でも行うことができます。

システム設定を行う（つづき）

<2>録画方式の設定



【動き自動検出（VMD）録画】

動き自動検出（VMD）を使ったイベント録画だけを行います。

【スケジュール録画／動き自動検出（VMD）録画】

24時間連続録画のスケジュール録画に加えて、動き自動検出（VMD）が発生したときはイベント録画を行います。

【スケジュール録画】

24時間連続録画のスケジュール録画だけを行います。

メモ

- 「らくらく日付/時間・録画設定」で設定した録画関連の内容は、[録画] - [スケジュール] の「簡単モード」の設定値として保存されます。上記画面の選択内容自体は保存されませんので、本画面を表示する度に [スケジュール録画] が選択されている状態が表示されます。

<3>録画画質の設定



録画の画質を設定します。

[画質優先] [標準] [記録時間優先] の3種類の録画画質から1つを選択します。画質は [画質優先] [標準] [記録時間優先] の順番で高画質になっています。高い画質を選択するほど、ハードディスクを消費するため、記録時間は短くなります。

【画質優先録画】

30 ips / 最高画質 / 最高 [FHD (FRAME)]

【標準録画】

15 ips / 高画質 / 最高解像度 [FHD (FRAME)]

- ただし「スケジュール録画/動き自動検出（VMD）録画」の「動き自動検出（VMD）録画」のときは、30 ips / 最高画質 / 最高 [FHD (FRAME)]

【記録時間優先録画】

5 ips / 標準画質 / 高解像度 [HD (FIELD)]

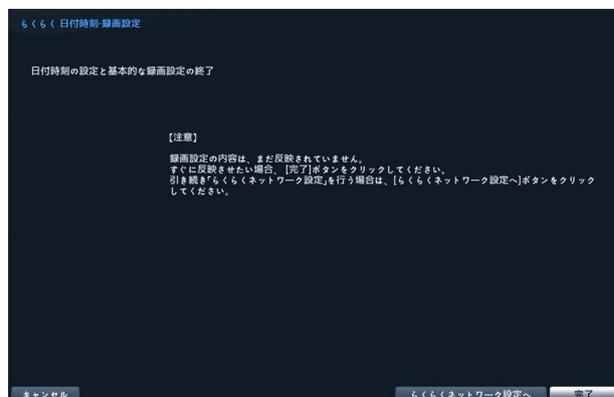
- ただし「スケジュール録画/動き自動検出（VMD）録画」の「動き自動検出（VMD）録画」のときは、15 ips / 高画質 / 最高 [FHD (FRAME)]

メモ

- 「らくらく日付/時間・録画設定」で設定した録画関連の内容は、[録画] - [スケジュール] の「簡単モード」の設定値として保存されます。上記画面の選択内容自体は保存されませんので、本画面を表示する度に [画質優先] が選択されている状態が表示されます。

【次へ】 ボタン

ボタンを押すことで、日付/時間及び録画に関する設定は完了し、終了画面が表示されます。



システム設定を行う（つづき）

【キャンセル】 ボタン

ボタンを押すと録画設定は反映されず、初期画面に戻ります。

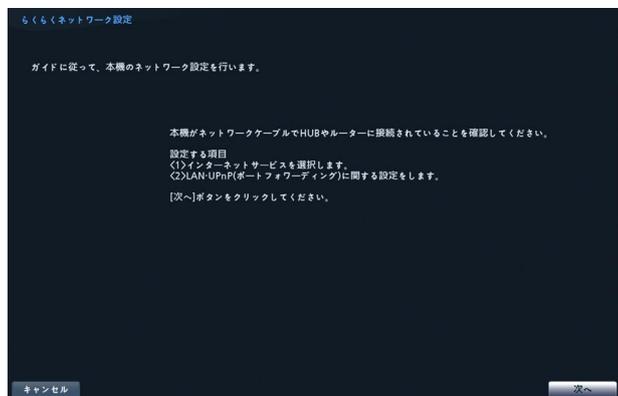
【完了】 ボタン

ボタンを押すと録画設定が反映され、初期画面に戻ります。

【らくらくネットワーク設定へ】 ボタン

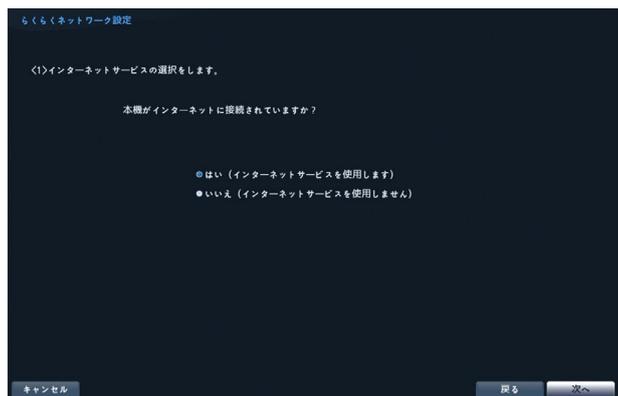
ボタンを押すと [らくらくネットワーク設定] 画面 (☞本ページ) が表示されます。

■らくらくネットワーク設定



[らくらくネットワーク設定] では、画面の<1> ~ <3>の順番でネットワークに関する設定を行います。
[次へ] ボタンを押します。

<1>インターネットサービスの選択



【はい (インターネットサービスを使用します)】

本機をインターネットに接続する場合に選択します。下記の [<2>LAN・UPnPに関する設定をします] — [インターネットサービスを使用する] 画面 (☞17ページ) が表示されます。

【いいえ (インターネットサービスを使用しません)】

本機をインターネットに接続しない場合に選択します。
[<2>LAN・UPnPに関する設定をします] — [インターネットサービスを使用しない] 画面 (☞17ページ) が表示されます

重要

- [はい (インターネットサービスを使用します)] を選択すると、UPnP機能を使用してUPnPルーターを設定します。この場合、本機は起動する度にUPnPルーターへの設定を行うため、本機の起動時はあらかじめUPnPルーターの電源を入れておいてください。

<2>LAN・UPnP (ポートフォワーディング) の設定

IPアドレスを自動で設定する場合は、[自動設定] を選択し、[テスト] ボタンを押します。ネットワーク環境から自動的にIPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNS サーバーのアドレスなどを取得します。

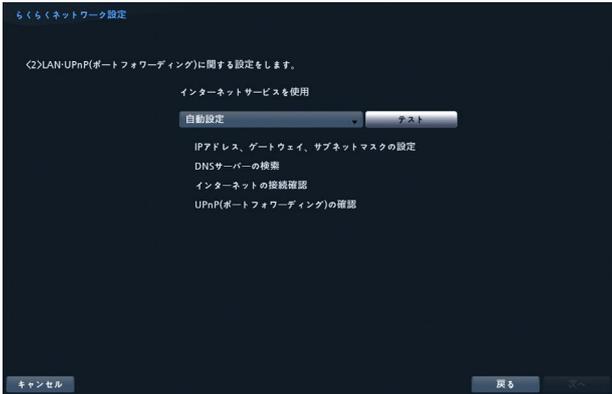
IPアドレスを手動で設定する場合は、[手動設定] を選択し、必要なネットワーク設定を入力後、[テスト] ボタンを押します。

メモ

- [テスト] ボタンを押したときに設定は反映されますが、[自動設定] の場合、そのネットワークが使用可能であることを確認できなければ (IPアドレスを取得できないなど)、失敗した旨のエラーメッセージが表示されます。その場合、ネットワーク環境を再確認するか、[ネットワーク] - [LAN] にて個別に設定してください。
- [手動設定] の場合、DNSサーバーを使用しないときは、DNSサーバーに「0.0.0.0」を設定してください。

システム設定を行う（つづき）

■ インターネットサービスを使用する—自動設定



■ インターネットサービスを使用しない—手動設定



■ インターネットサービスを使用する—手動設定



■ インターネットサービスを使用しない—自動設定



システム設定を行う（つづき）

日時に関する設定を行う [日付/時刻]



[日付]

本機の日付を設定します。

日付

▲▼ボタンで日付を設定します。

表示形式

日付の表示形式を選択します。

表示例：2019年3月1日の場合

yyyy/mm/dd : 2019/03/01

mm/dd/yyyy : 03/01/2019

dd/mm/yyyy : 01/03/2019

初期設定：yyyy/mm/dd

[時間]

本機の時刻を設定します。

時間

▲▼ボタンで時刻を設定します。

表示形式

時刻の表示形式を選択します。

表示例：午後3時00分00秒の場合

24時間制：15:00:00

12時間制：午後 03:00:00

初期設定：24時間制

メモ

- [保存] ボタンを押すまで、時計は動きません。

NTPサーバー ...

選択すると「NTPサーバー」画面（☞本ページ）が表示され、本機の時刻同期ができます。

休日...

選択すると「休日」画面（☞19ページ）が表示され、休日が設定できます。

■ NTPサーバー



[自動同期]

チェックを入れると、[調整間隔] で設定した時間間隔でNTPサーバーと時刻同期を行います。

[NTPサーバー]

選択するとソフトキーボードが表示されます。

NTPサーバーのIPアドレスを入力します。

DNSサーバーを使用している場合、IPアドレスの代わりにドメイン名を使用できます。

[同期間隔]

30分から1日の間で、同期時間間隔を設定します。初期値：1時間

[前回同期日時]

NTPサーバーと最後に同期した時刻が表示されます。

[サーバーとして動作する]

チェックを入れると本機はNTPサーバーとして動作します。

[決定] ボタン

ボタンを押すと、設定を反映して画面を閉じます。

システム設定を行う（つづき）

[キャンセル] ボタン

ボタンを押すと、設定を反映せずに画面を閉じます。

■ 休日



[番号]

追加した休日の番号が表示されます。

[日付]

[+] ボタンを押すと、休日として現在の日付が表示されます。

- 月または日を選択し、▲▼ボタンで変更します。
- ✕ ボタンで休日を削除します。

[+] ボタン

ボタンを押すと休日が追加されます。

[決定] ボタン

ボタンを押すと、設定を反映して画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

ボタンを押すと、設定を反映せずに画面を閉じます。

メモ

- スケジュール設定などで選択する「休日」は、ここで設定した日付が適用されます。毎年同じ日付にならない休日は、その年の休日が過ぎた後で更新してください。
-

システム設定を行う（つづき）

ユーザーに関する設定を行う [ユーザー]



[グループとユーザー]

登録されたグループ名やユーザー名を表示します。

- 左横に「+」または「-」が表示されている場合、その項目はグループ名であることを表示しています。
- グループ名の左横に「-」が表示されている場合、グループが「展開されている」ことを示し、グループ内のすべてのユーザー名がグループ名の下に表示されています。グループ名の左横に「+」がある場合、グループが「折りたたまれている」ことを示し、グループ内のすべてのユーザー名は非表示となっています。
- グループを展開または折りたたむには、「+」あるいは「-」を選択します。
- グループ名を選択すると、グループの権限レベルを変更することができます。
- ユーザー名を選択すると、ユーザーに割り当てられたパスワードの変更ができます。ユーザーを割り当てるグループの変更もできます。
- **✕** ボタンを押すと、ユーザーまたはグループを削除できます。

メモ

- **✕** ボタンがグレー表示されているグループあるいはユーザーは削除できません。
- ログインしているユーザーを削除するには、先にユーザーをログアウトさせ、その後ユーザーを削除します。

+グループ...

選択するとソフトキーボードが表示され、グループ名を入力します。グループ名には、スペースを含め最大15文字まで使用できます。グループ名を入力し [決定] ボタンを押すと、「新しいグループ」画面（☞本ページ）が表示され、グループに権限レベルを割り当てます。

+ユーザー ...

選択するとソフトキーボードが表示され、ユーザー名を入力します。ユーザー名には、スペースを含め最大15文字まで使用できます。ユーザー名を入力し [決定] ボタンを押すと、「新しいユーザー」画面（☞21ページ）が表示され、グループの割り当て、パスワードの設定を行います。

[オートログイン]

本機の電源を入れたときに、自動的にログインするユーザーを選択します。「しない」を選択すると、自動的にログインしません。

初期設定：しない

[オートログアウト]

自動的にログアウトするまでの時間を選択します。

しない / 1分 / 3分 / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 1時間

初期設定：しない

■新しいグループ



[グループ]

入力したグループ名が表示されます。

選択して、グループ名を変更することもできます。

システム設定を行う（つづき）

[全て選択]

チェックを入れるとすべての権限レベルが選択されます。

システム終了：システムを終了できます。

アップグレード：ソフトウェアをアップグレードできます。

色調整：カメラの輝度、コントラスト、彩度および色相を調整できます。

PTZ制御：PTZカメラを制御できます。

アラーム出力制御：[アラーム] ボタンを押すと、アラーム発生中のレコーダーの出力（内蔵ブザーを含む）を停止できます。

非表示設定中のカメラを表示：ライブ監視モードもしくは検索モードの間、非表示に設定されたカメラの映像を表示できます。

検索：検索モードにアクセスできます。

クリップコピー：映像をコピーできます。

設定：設定変更ができます。この権限がないユーザーは、システムの終了、アップグレードとログアウト以外の設定をすることができません。

システム時間変更：日付と時刻を変更できます。

データ削除：録画データの削除やディスクのフォーマットができます。

PTZ設定：PTZに関する設定ができます。

アラーム出力設定：アラーム出力の設定ができます。

非表示カメラ設定：非表示カメラの設定ができます。

録画設定：録画に関する設定ができます。

設定読込：保存された設定を読み込むことができます。

設定保存：現在の設定を保存できます。

[決定] ボタン

ボタンを押すと、設定を反映して画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

ボタンを押すと、設定を反映せずに画面を閉じます。

■新しいユーザー

新しいユーザー

ユーザー

グループ Administrator

パスワード

確認

決定 キャンセル

[ユーザー]

入力したユーザー名が表示されます。選択して、ユーザー名を変更することもできます。

[グループ]

ドロップダウンメニューからユーザーを割り当てるグループを選択します。

[パスワード]

パスワードを8文字以上15文字以内で入力します。また、英字（大文字）、英字（小文字）、数字、記号のうち3種類以上を使用し、ユーザー名がパスワードに含まれないようにしてください。

[確認]

パスワードの確認のため、パスワードと同じ文字列を入力します。

[決定] ボタン

ボタンを押すと、設定を反映して画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

ボタンを押すと、設定を反映せずに画面を閉じます。

システム設定を行う（つづき）

ディスクに関する設定を行う [HDD]



[タイプ]

ディスク装置の種類が表示されます。

[容量]

ディスク装置の容量が表示されます。

[フォーマット]

ディスク装置が録画用に使われている（「録画」）か使われていない（「使用しない」）かを表示します。

- 「フォーマットなし」は、ディスク装置がフォーマットされていないことを表示します。

リストボックスを選択すると「フォーマット」画面（[本ページ](#)）が表示され、ディスク装置のフォーマットができます。

[情報]

ディスク装置が使用されているかどうかが表示されます。

- 「その他」は、ディスク装置が他のレコーダーで使用されていたことを表示します。

リストボックスを選択すると、「ディスク情報」画面（[本ページ](#)）が表示されます。

■フォーマット



[用途]

フォーマットの用途を選択します。

録画 : 録画用としてフォーマットします。

使用しない : 録画用として使用しません

[フォーマット] ボタン

ボタンを押すと、フォーマットを実行し、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

ボタンを押すと、フォーマットを実行せずに画面を閉じます。

■ディスク情報



■録画データ

[開始]

録画データの開始時刻が表示されます。

[終了]

録画データの終了時刻が表示されます。

[削除] ボタン

ボタンを押すと、確認画面を表示し、録画データを消去することができます。

[キャンセル] ボタン

ボタンを押すと、画面が閉じます。

システム設定を行う（つづき）

イベントに関する設定を行う [システムイベント]

自己診断などのシステムイベントの実行とその結果報告の設定を行います。



[イベント]

システムイベントの種類を表示します。「システム」、「録画状態確認」、「アラーム入力確認」は確認間隔などを設定できます。

[設定]

システムイベントに対応した設定内容を表示します。また、各リストボックスを選択することで確認間隔などの設定を行います。

リストボックスを選択するとプルダウンメニューが表示されます。

システム

システムイベントを実行する間隔を、「1時間」から「30日」、または「しない」から選択します。

録画状態確認

リストボックスを選択すると「録画状態確認」画面（☞24ページ）が表示され、録画状態確認のスケジュールを最大20件設定できます。

アラーム入力確認

アラーム入力について検査を実行する間隔を、「1時間」から「30日」、または「しない」から選択します。設定した確認間隔以上の間アラーム入力がない場合に、異常と診断します。

メモ

- アラーム入力確認の設定は「イベント設定」で事前にアラーム入力を設定しておく必要があります。

ディスクフル警告

警告を発するディスク使用量の割合を、80%～99%の範囲から選択します。

ディスクエラー

警告を発する不良セクターの割合を、10%～90%の範囲から選択します。

ディスク温度

警告を発するハードディスクドライブの温度を設定します。

[動作]

本機を、イベントごとの動作に連動するよう設定します。イベントを、アラーム出力と連動させたり、内部ブザーを鳴らせたり（アラーム出力動作）、他のいろいろな装置に通知させたり、警告ウィンドウを表示させたり（通知動作）することができます。

メモ

- アラーム出力動作は、「システム」、「システムスタート」、「システム再起動」、「システム終了」、「緊急録画」の各イベントには設定できません。通知動作は、「システム」、「システムスタート」、「システム再起動」、「システム終了」の各イベントには設定できません。
- 警告ウィンドウは、イベントが発生したことをメインモニター上にポップアップで知らせるための画面です。表示内容はイベント状態画面（☞72ページ）と同じです。

システム設定を行う（つづき）

■ 録画状態確認



[+] ボタン

ボタンを押すと、スケジュール項目を追加できます。

[X] ボタン

ボタンを押すと、スケジュールを削除できます。

[決定] ボタン

ボタンを押すと、設定を反映して画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

ボタンを押すと、設定を反映せずに画面を閉じます。

[スケジュール動作]

チェックを入れると、録画状態の確認を実行する日、時間範囲、および確認間隔を設定できます。

初期値：チェック無し

[番号]

録画状態確認を行うスケジュールの番号です。

[曜日]

録画状態確認を行う曜日を選択します。

日、月、火、水、木、金、土、月～金、休日、全て

初期値：全て

[範囲]

録画状態確認を行う時間帯を設定します。

00:00 ～ 24:00

左右の時刻を、▲▼ボタンで増減（15分単位）
します。

初期値：00:00 ～ 24:00

[確認間隔]

設定した確認間隔以上の間、録画状態にならない場合に、異常と診断します。

しない、1分、2分、1時間、2時間、3時間、4時間、

5時間、6時間、7時間、8時間、9時間、10時間、

11時間、12時間、18時間、1日、7日

初期値：1分

録画設定を行う

基本的な設定を行う [基本]



[上書]

チェックを入れると、ディスクの残容量がなくなったとき、最も古い録画データに上書きします。

チェックを外すと、残容量がなくなったとき録画を停止します。

初期値：チェック有り

[イベント録画時間]

連動するイベントの録画時間を設定します。イベント録画に関する情報は、「イベント設定を行う」(☞30ページ)を参照ください。

5秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒、40秒、50秒、1分15秒、1分30秒、1分45秒、2分、3分、4分、5分、6分、7分、8分、9分、10分、15分、30分

初期値：5秒

[録音]

チェックを入れると、最大4つの音声入力を録音できます。

初期値：チェック無し

メモ

- 録音するには、あらかじめ設定メニュー [装置] - [音声] で、音声入力をカメラに割付ける必要があります。(☞36ページ)

[自動消去]

設定した保存期間を過ぎたとき、録画データを自動的に削除するかどうか設定します。

- 録画データの保存期間は「しない」～1～999日の間で設定できます。「しない」に設定すると、自動消去機能は無効になります。

初期値：しない

- 保存期間はスライダーを選び、マウスのドラッグ、あるいは前面パネルの左右ボタンで設定します。また、▲▼ボタンを増減させて数値を設定します。
- 保存期間を過ぎた録画データは、深夜0時、あるいは再起動されたとき、あるいは自動消去設定を変更したときに消去されます。

メモ

- 深夜0時にシステムが再起動されたとき、自動消去設定を変更したときには、設定した期間よりも早く、録画された映像を自動的に消去します。

[緊急録画を使用する]

チェックを入れると、前面パネルの [緊急録画] ボタンを押して緊急録画を行うことができます。また、ライブ監視メニューや検索メニューの **!** (緊急録画) を選択しても緊急録画を行うことができます。(☞73ページ)
初期値：チェック有り

[緊急録画時間]

ドロップダウンメニューから、緊急録画の録画時間を選択します。

制限なし、5分、10分、15分、30分、45分、1時間

初期値：制限なし

メモ

- 緊急録画は再度 [緊急録画] ボタンを押すか、あるいは **!** (緊急録画) を選択しない限り、選択された時間経過後に自動的に停止します。
- 緊急録画を手動で停止したい場合は、「制限なし」を選択します。

[ips]

ドロップダウンメニューから、緊急録画の録画レートを選択します。

1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、5.00 ips、6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、9.00 ips、10.00 ips、15.00 ips、20.00 ips、30.00 ips

初期値：30.00 ips

[画質]

ドロップダウンメニューから、緊急録画の録画画質を選択します。

最高画質、高画質、標準画質、低画質

初期値：高画質

[解像度]

ドロップダウンメニューから、緊急録画の画像解像度を選択します。

最高 [FHD (FRAME)]、高解像度 [HD (FIELD)]、標準 [FRAME (CIF)]

初期値：高解像度 [HD (FIELD)]

録画設定を行う（つづき）

スケジュールの設定を行う [スケジュール]

スケジュールでは、曜日、時刻、休日を指定して録画を行うように設定できます。15分単位で設定することができます。スケジュール動作をオンに設定すると、設定したスケジュールに従って録画を行います。スケジュール動作をオフに設定したときに各カメラ画面の左上に  が表示され、すべてのスケジュール動作を行いません。緊急録画は、スケジュールがオフのときも機能します。緊急録画中は  が表示されます。

[スケジュールオン]

チェックを入れると、スケジュール録画を行います。
初期値：チェック有り

簡単モード／詳細モード

スケジュールの設定方法（スケジュールモード）には簡単モードと詳細モードがあり、設定項目が一部異なります。「詳細モード」を選択すると、イベントごとに録画スケジュールを個別に設定できます。



簡単モード時のスケジュール設定画面



詳細モード時のスケジュール設定画面

メモ

- スケジュールモードを変更すると、すべてのイベントと動作状態の設定がリセットされます。

[番号]

スケジュールの番号を表示します。

[+] ボタン

ボタンを押してスケジュールを追加します。

[曜日]

録画状態確認を行う曜日を選択します。

日、月、火、水、木、金、土、月～金、休日、全て
初期値：全て

[時間範囲]

録画状態確認を行う時間帯を設定します。

00:00 ~ 24:00

左右の時刻を、▲▼ボタンで増減（15分単位）します。

初期値：00:00 ~ 24:00

[モード]（簡単モードのみ）

録画モードを選択します。

録画しない、スケジュール、イベント、
スケジュール&イベント

初期値：スケジュール&イベント

録画しない

[緊急録画] ボタンが押されない限り、設定された曜日と時刻になっても録画を行いません。

スケジュール

ライブ画像の左上に  アイコンを表示します。スケジュール設定された時刻になると録画（スケジュール録画）を開始し、画面の左上に  アイコンを表示します。

イベント

ライブ画像の左上に赤い  アイコンを表示します。イベントが発生したときにイベント録画を行い、画面の左上に  アイコンを表示します。「プレイイベント」録画を設定している場合は、イベントがないときは橙色の  アイコンを表示し、録画を行いません。イベントが発生すると、赤い  および  を表示し、録画を開始します。

録画設定を行う（つづき）

メモ

- 録画アイコンの詳細は以下の通りです。
 スケジュール、 アラーム入力、
 VMD（動き）、 ビデオロス、 映像遮断
- 設定されていないチャンネルは、1つ前のスケジュール項目の設定値を使用します。
- 複数のイベントが同時に検出されたとき、同一チャンネルではイベント録画の録画レート「ips」、「画質」、「解像度」、および「時間」の値がそれぞれ異なる場合、高いほうの設定値で録画をします。しかし、「ips」、「画質」、「解像度」、および「時間」がすべて最大値に設定されている場合、「ips」は対応している最大値にリセットされます。（詳細モード時のみ）

■ 初期値

初期値			
モード	ips	画質	解像度
スケジュール	10.00 ips	最高画質	最高 [FHD(FRAME)]
イベント	30.00 ips	最高画質	最高 [FHD(FRAME)]

* ()内はSD出力時

簡単モード時の初期値画面

初期値				
モード	ips	画質	解像度	時間
スケジュール	10.00 ips	最高画質	最高 [FHD(FRAME)]	
イベント	30.00 ips	最高画質	最高 [FHD(FRAME)]	5 秒

* ()内はSD出力時

詳細モード時の初期値画面

[モード]

録画モードが表示されます。

[ips]

ドロップダウンメニューから録画レートを選択します。

1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、5.00 ips、
 6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、9.00 ips、10.00 ips、
 15.00 ips、20.00 ips、30.00 ips

初期値：10.00 ips（スケジュール）、
 30.00 ips（イベント）

[画質]

ドロップダウンメニューから、録画画質を選択します。

最高画質、高画質、標準画質、低画質

初期値：最高画質

[解像度]

ドロップダウンメニューから、録画の画像解像度を選択します。

最高 [FHD (FRAME)]、高解像度 [HD (FIELD)]、
 標準 [FRAME (CIF)]

初期値：最高 [FHD (FRAME)]

[時間]（詳細モード時のみ）

関連するイベントの録画時間を選択します。

5秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒、40秒、50秒、
 1分、1分15秒、1分30秒、1分45秒、2分、3分、4分、
 5分、6分、7分、8分、9分、10分、15分、30分

初期値：なし（スケジュール）、5秒（イベント）

メモ

- スケジュール録画の時間は設定できません。

録画設定を行う（つづき）

プレイベントに関する設定を行う [プレイベント]

[スケジュール] の [モード] が「イベント」（イベント録画モード）のとき、[プレイベント] の [時間] で設定した時間だけ、イベントが発生する以前の映像を含めて録画することができます。

メモ

- [プレイベント] で設定を行う前に、[スケジュール] でイベントの設定を行ってください。設定を行っていない場合、警告メッセージが表示されます。
- [スケジュール] の [モード] が「スケジュール」、または「スケジュール&イベント」の場合、[時間] の設定は [プレイベント] ではなく、[スケジュール] の設定に従います。



「番号」

チェックを入れると、該当番号のカメラに対してプレイベント録画を行います。

初期値：チェック無し

[ips]

ドロップダウンメニューから、緊急録画の録画レートで選択します。

1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、5.00 ips、
6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、9.00 ips、10.00 ips、
15.00 ips、20.00 ips、30.00 ips

初期値：30.00 ips

[画質]

ドロップダウンメニューから、録画画質を選択します。

最高画質、高画質、標準画質、低画質

初期値：最高画質

【解像度】

ドロップダウンメニューから、録画の画像解像度を選択します。

最高、高解像度、標準

初期値：高解像度

【時間】

イベントが発生する前の録画時間を設定します。

00分05秒 ～ 30分00秒

初期値：00分05秒

【保存】 ボタン

ボタンを押すと、設定を保存して、メニュー画面に戻ります。

【キャンセル】 ボタン

ボタンを押すと、設定を保存せずに、メニュー画面に戻ります。

イベント設定を行う

動き検出の設定を行う [VMD]

本機は、動き自動検出（VMD）機能を備えており、設定したエリアに動きがある場合、VMDイベントを検出します。動き自動検出は、カメラごとにオンまたはオフにできます。

ブロック番号	感度	エリア	縮小ブロック	エリアビュー(可視化)	動き自動検出マスク間隔	動作
1	3/3	192	1/1		2秒	☑
2	3/3	192	1/1		2秒	☑
3	3/3	192	1/1		2秒	☑
4	3/3	192	1/1		2秒	☑
5	3/3	192	1/1		2秒	☑
6	3/3	192	1/1		2秒	☑
7	3/3	192	1/1		2秒	☑
8	3/3	192	1/1		2秒	☑
9	3/3	192	1/1		2秒	☑
10	3/3	192	1/1		2秒	☑
11	3/3	192	1/1		2秒	☑
12	3/3	192	1/1		2秒	☑
13	3/3	192	1/1		2秒	☑
14	3/3	192	1/1		2秒	☑
15	3/3	192	1/1		2秒	☑
16	3/3	192	1/1		2秒	☑

メモ

- 前面パネルから設定する場合は、複数のブロックからなるブロックグループを移動して、その中の1ブロックずつ設定します。
 - HL316 16ブロックで1グループ
 - HL308 8ブロックで1グループ
 - HL304 4ブロックで1グループ
- ブロックグループ内のブロックはカメラボタンで選択します。グループ内左側のブロックから
 - HL316 カメラ番号1～16、○HL308 カメラ番号1～8、○HL304 カメラ番号1～4に該当します。

[番号]

カメラ番号です。チェックを入れると動き自動検出を行います。

初期値：チェック無し

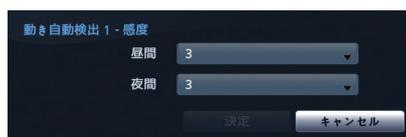
[感度]

本機の動き自動検出感度を、昼間/夜間それぞれ選択します。

昼間：1（低感度）、2、3、4、5（高感度）

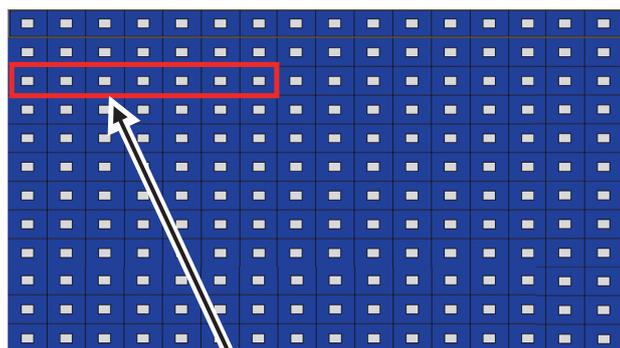
夜間：1（低感度）、2、3、4、5（高感度）

初期値：3/3



[エリア]

[エリア] を選択すると、カメラ画像に重なってエリア設定画面が表示されます。エリア設定画面のブロックを選択または解除して、動きを検出するエリアを設定します。

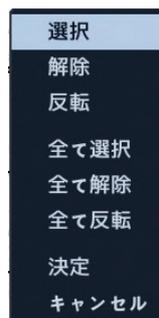


ブロックグループ

前面パネルでのエリア設定方法

○HL316 上下ボタンで、○HL308 ○HL304 上下左右ボタンで、ブロックグループを移動させます。ブロックグループ内のブロック位置をカメラボタンで選択し、動き検出エリアを設定します。選択するごとに交互に選択と解除が行われます。

Ⓜ ボタンを押すと、エリア設定メニュー画面が表示されます。設定メニューには、以下の機能があります。



イベント設定を行う (つづき)

- 選択** : ブロックが動きを検出するようにアクティブにします。
- 解除** : ブロックが動きを検出しないように非アクティブにします。
- 反転** : 非アクティブなブロックをアクティブにし、アクティブなブロックを非アクティブにします。
- 全て選択** : すべてのブロックが動きを検出するようにアクティブにします。
- 全て解除** : すべてのブロックが動きを検出しないように非アクティブにします。
- 全て反転** : すべての非アクティブなブロックをアクティブにし、すべてのアクティブなブロックを非アクティブにします。
- 決定** : 変更を確定し、エリア設定を終了します。
- キャンセル** : 変更を保存せずにエリア設定を終了します。

マウスでのエリア設定方法

マウスで複数のブロックをドラッグすると、「選択／解除／反転」のメニューが表示され、動き検出エリアを設定します。

1つのブロックを選択した場合は、「選択／解除」が交互に設定されます。

マウスで右クリックすると、マウスカーソル位置のブロックグループが選択され、設定メニューが表示されます。

[最小ブロック]

動き自動検出アラームが発生するための最小検出ブロック数を、昼間/夜間それぞれ選択します。

値を小さくすると、検出に必要なブロック数が少なくなり、感度が向上します。

昼間 : 1 ~ エリア設定で選択したブロック数 (最大192)

夜間 : 1 ~ エリア設定で選択したブロック数 (最大192)

初期値 : 1/1



[エリアビュー (可視化)]

チェックを入れ、設定画面内の [保存] ボタンを押すと、ライブ監視モードの全画面表示中にエリア設定した箇所動きを検知したとき、エリア枠が赤色表示になります。

初期値 : チェック無し

メモ

- チェックを入れた後、[保存] ボタンを押さないと設定が反映されません。

[動き自動検出マスク間隔]

動き自動検出が繰り返し発生する場合に、記録も通知も行わない間隔を選択します。

しない、1秒、2秒、3秒、4秒、5秒、6秒、7秒、8秒、9秒、10秒

初期値 : 2秒

メモ

- 「しない」を選択するとマスクを行いません。
- 動き自動検出の録画動作は、動き自動検出マスク間隔に影響されません。

[動作]

カメラごとに動き自動検出イベントのイベント動作を設定します。イベント動作として、別のカメラとの連動、アラーム出力端子の出力、内蔵ブザー鳴動、他装置への通知、PTZカメラのプリセット移動、スポットモニターへのカメラ表示ができます。

録画 : イベント発生時に連動録画するカメラを選択します。

アラーム出力 : イベント発生時にアラーム出力するチャンネルあるいはブザー鳴動を選択します。

通知 : イベント発生時の通知機能として、メールや警告ウィンドウを設定します。

PTZ : イベント発生時、プリセット移動させるカメラを選択します。

スポットモニター : **HL316**
イベント発生時、スポットモニターに表示するカメラを選択します。

[昼間設定]

[昼間] の時間範囲を15分単位で設定します。設定範囲外の時間を夜間とみなします。

00:00 ~ 24:00

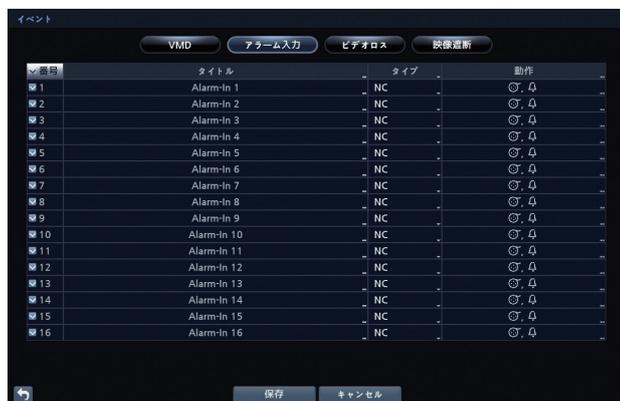
初期値 : 09:00 ~ 18:00



イベント設定を行う（つづき）

アラーム入力の設定を行う [アラーム入力]

アラーム入力端子に入力信号がある場合、アラーム入力イベントを検出します。アラーム入力は、後面パネルのアラーム入力端子ごとに関連付けられます。



[番号]

アラーム番号です。
チェックを入れるとアラーム入力が有効になります。
初期値：チェック無し

[タイトル]

ソフトキーボードで各アラームにタイトルをつけます。
初期値：Alarm-In<番号>

[タイプ]

NO（常時開）またはNC（常時閉）を選択します。
初期値：NO

[動作]

アラーム入力ごとにアラーム入力イベントのイベント動作を設定できます。イベント動作では、別のカメラとの連動、アラーム出力端子の出力、内蔵ブザー鳴動、他装置への通知、PTZカメラのプリセット移動、スポットモニターのカメラ表示ができます。
詳しくは [動き検出] — [動作] (☞31ページ) を参照してください。

ビデオロスの設定を行う [ビデオロス]

カメラからの映像入力が一定時間無くなると、ビデオロスイベントを検出します。



[番号]

カメラ番号です。

[ビデオロス検出期間]

ビデオロスを検出するまでの信号なしの時間を設定します。信号なしの時間が設定した時間よりも短い場合は、ビデオロスは検出されません。

0.1秒～15.0秒

初期値：0.1秒

[動作]

カメラごとにビデオロスイベントのイベント動作を設定できます。イベント動作では、別のカメラとの連動、アラーム出力端子の出力、内蔵ブザー鳴動、他装置へ

の通知、PTZカメラのプリセット移動、スポットモニターのカメラ表示ができます。
詳しくは [動き検出] — [動作] (☞31ページ) を参照してください。

[マスク時間有効化]

チェックを入れると、[時間設定] で設定された期間に発生したビデオロスイベントは無視されます。
初期値：チェック無し

[時間設定]

マスク時間を設定します。

00:00～24:00

初期値：09:00～18:00

イベント設定を行う（つづき）

映像遮断の設定を行う [映像遮断]

カメラからの映像入力が一定時間無くなると、ビデオロスイベントを検出します。



【番号】

カメラ番号です。
チェックを入れると映像遮断の検出を行います。
初期値：チェック無し

【感度】

映像遮断に対する、黒/白の感度をそれぞれ選択します。
黒：0（検出しない）、1（最低感度）～15（最高感度）
白：0（検出しない）、1（最低感度）～15（最高感度）
初期値：1/1

メモ

- ノイズの非常に多いカメラを低感度に設定したときは、映像遮断が検知されないことがあります。

【検出待ち時間】

映像遮断を通知するまでの時間を選択します。映像遮断が検知されても、選択した検出待ち時間よりも短い場合は、映像遮断とはみなされません。

使用しない、3秒、5秒、10秒、15秒、30秒、1分、2分、3分、5分

初期値：5秒

【動作】

カメラごとに映像遮断イベントのイベント動作を設定できます。イベント動作では、別のカメラとの連動、アラーム出力端子の出力、内蔵ブザー鳴動、他装置への通知、PTZカメラのプリセット移動、スポットモニターのカメラ表示ができます。
詳しくは [動き検出] — [動作] (☞31ページ) を参照してください。

【マスク時間有効化】

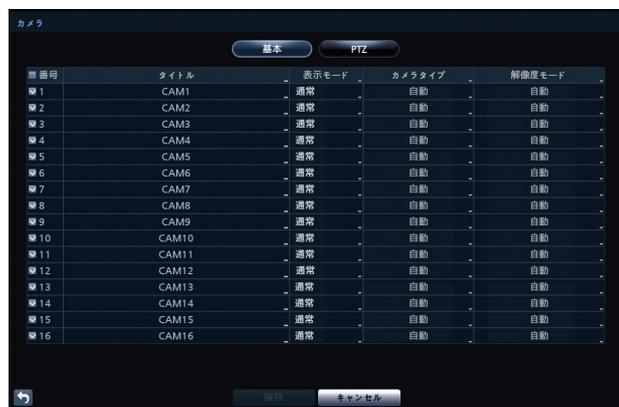
チェックを入れると、[時間設定] で設定された期間に発生した映像遮断イベントは無視されます。
初期値：チェック無し

【時間設定】

マスク時間を設定します。
00:00～24:00
初期値：09:00～18:00

カメラ設定を行う

基本の設定を行う [基本]



[番号]

カメラ映像を表示するかどうかを選択します。チェックを入れる则表示し、チェックを外すとカメラ映像は表示されません。

初期値：チェック有り

[タイトル]

ソフトウェアキーボードを使用して、各カメラのタイトルを変更します。

カメラタイトルはスペースを含めて最大31文字まで入力できます。(かな、カタカナ文字の場合は最大15文字まで)

初期値：CAM <番号>

[表示モード]

ドロップダウンリストからモードを選択します。

通常：カメラ映像を表示します。

非表示1：映像は表示せず、設定したカメラタイトルと状態アイコンを表示します。

非表示2：映像は表示せずカメラ番号（例：CAM3）のみを表示します。

初期値：通常

メモ

- 「非表示カメラの表示」権限のないユーザーは、ライブ監視および再生モードの両方において、「非表示1」および「非表示2」に設定されたカメラの映像を見ることはできません。

[カメラタイプ]

本機がサポートするカメラのタイプを選択します。

自動、HD、SD

初期値：自動

メモ

- 「自動」を選択すると、本機がカメラのタイプを自動認識し、「自動（HD）」あるいは「自動（SD）」と表示します。
- 「HD」、「SD」を選択したとき、カメラのタイプと合っていない場合は黒画表示されることがあります。

[解像度モード]

本機がサポートする、カメラの解像度を選択します。

自動、720、Full HD

初期値：自動

メモ

- 「自動」を選択すると、本機がカメラの解像度を自動認識し、「自動（720）」あるいは「自動（Full HD）」と表示します。
- 「720」、「Full HD」を選択したとき、カメラの解像度と合っていない場合は黒画表示されることがあります。

カメラ設定を行う（つづき）

PTZカメラの設定を行う [PTZ]

メモ

- PTZカメラの設定は、設定画面の表右下の [ポート] の「RS232」または「RS485」を選択した場合のみ可能です。



[番号]

カメラの番号です。

[品番]

PTZカメラを使用する場合は「Panasonic」を選択します。

なし、Panasonic

初期値：なし



[ID]

カメラに設定されたIDと同じ値に設定します。番号を選択し、▲▼ボタンで番号を変更します。

0～256

初期値：0

[最大プリセット]

PTZカメラがサポートする最大プリセット番号を設定します。プリセット番号を選択し、▲▼ボタンで番号を変更します。

16～256

初期値：16

[ポート]

設定画面の表右下の [ポート] で「RS232」または「RS485」を選択した場合、選択可能になります。

なし、RS232、RS485

初期値：なし

メモ

- Panasonic製のPTZカメラは「RS485」を選択します。

[設定] ボタン

選択すると、ポート設定画面が表示されます。

PTZカメラの説明書に従って、ポートを設定します。

■ポート設定 - <インターフェース名>



[ボーレート]

300、600、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200

初期値：19200

[データ長]

7、8

初期値：8

[ストップビット]

1、2

初期値：1

[パリティ]

なし、奇数、偶数

初期値：なし

重要

- RS232C、RS485ポートは共通のため、PTZで設定したRS232C、RS485ポートの設定内容は、[装置] - [その他] のUPS、電波時計のポート設定にも反映されます。

装置の設定を行う

音声の設定を行う [音声]

本機は、最大4つの音声入力にカメラを割り当てることができます。

メモ

- 1つの音声入力に対し、1つのカメラを割り当てできます。
- 音声入力に割り当てたカメラを別の音声入力に割り当てることはできません。



[番号]

音声入力の番号です。

[カメラ割付]

各音声入力に関連付けたいカメラを選択します。

HL316

なし、CAM1 ~ CAM16

HL308

なし、CAM1 ~ CAM8

HL304

なし、CAM1 ~ CAM4

初期値：なし

[音声出力]

チェックを入れると、音声出力が有効になります。

初期値：チェック有り

メモ

- チェックを入れると、検索モードで1画面表示のとき、スピーカーアイコンが表示されます。

アラーム出力の設定を行う [アラーム出力]

本機は、アラーム出力の動作スケジュールを最大20ヶ設定できます。



[時間]

アラームを出力している時間を設定します。

5秒～30分

初期値：5秒

[タイトル] ボタン

選択すると「タイトル」画面 (37ページ) が表示され、ソフトキーボードでアラーム出力に名称をつけることができます。また、アラーム出力の「N.O.」を「N.C.」に反転することができます。

装置の設定を行う（つづき）

【+】ボタン

ボタンを押してスケジュールを追加します。

【番号】

スケジュールの番号です。

【曜日】

アラーム出力を行う曜日を選択します。

日、月、火、水、木、金、土、月～金、休日、全て
初期値：全て

【範囲】

アラーム出力を行う時間帯を設定します。

00:00～24:00
左右の時刻を、▲▼ボタンで増減（15分単位）します。
初期値：00:00～24:00

【モード】

スケジュールされた時間帯にアラーム出力を行うかを設定します。

オフ：スケジュールされた時間中、アラーム出力を行いません。

オン：スケジュールされた時間中、アラーム出力を行います。

イベント：スケジュールされた時間中、イベントが発生したときにアラーム出力を行います。

初期値：イベント

【動作】

選択すると、[スケジュール<番号>-動作]画面（☞本ページ）が表示され、アラーム出力や内蔵ブザーを設定します。

【×】

アラーム出力スケジュールを削除します。選択すると確認画面が表示されます。

【詳細】ボタン

選択すると「アラーム出力:詳細設定」画面（☞38ページ）が表示され、ブザーの鳴動時間を設定することができます。

■タイトル

番号	タイトル	N.O.⇒N.C.(反転)
1	Alarm Out 1	<input type="checkbox"/>
2	Alarm Out 2	<input type="checkbox"/>
3	Alarm Out 3	<input type="checkbox"/>
4	Alarm Out 4	<input type="checkbox"/>

【番号】

アラーム出力の番号です。

【タイトル】

ソフトキーボードでアラーム出力に名称をつけます。
（英数記号スペース、1～31文字）
初期値：Alarm Out <番号>

【N.O.⇒N.C.（反転）】

チェックを入れるとN.C.に反転します。
初期値：チェック無し

■スケジュール<番号>-動作

スケジュール 1 - 動作
<input type="checkbox"/> アラーム出力
<input checked="" type="checkbox"/> 1. Alarm Out 1
<input checked="" type="checkbox"/> 2. Alarm Out 2
<input checked="" type="checkbox"/> 3. Alarm Out 3
<input checked="" type="checkbox"/> 4. Alarm Out 4
<input checked="" type="checkbox"/> ブザー

【アラーム出力】

チェックを入れると下記のAlarm Outとブザーの両方に同時にチェックが入ります。
初期値：チェック無し

【<番号> Alarm Out<番号>】

チェックを入れると、アラーム発生時、後面パネルのアラーム端子にアラーム出力できます。
初期値：チェック有り

【ブザー】

チェックを入れると、アラーム発生時、本機のブザーが鳴ります。
初期値：チェック有り

装置の設定を行う（つづき）

メモ

- ブザーを止めるには、前面パネルの [アラーム] ボタンを押すか、ライブ監視メニューまたは検索メニューの  (アラーム復帰) を選択します。
- [アラーム出力] 画面の [詳細設定] ボタンを選択することで、ブザーの鳴動時間を設定できます。

■アラーム出力:詳細設定



[使用する]

チェックを入れるとブザーの鳴動時間を選択できます。ここで選択した鳴動時間は、本機のすべてのブザー鳴動時間に反映されます。

チェックを入れないと、ブザーは手動で止めるまで鳴動します。

初期値: チェックあり

[鳴動時間]

チェックを入れてブザーの鳴動時間を選択します。

ブザーは、選択した鳴動時間中、1秒間の鳴動を間欠で繰り返します。

0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.

初期値: 2秒

その他の設定を行う [その他]

UPSと電波時計のポートに関する設定を別々行います。

重要

- RS232C、RS485ポートは共通のため、UPS、電波時計で設定したRS232C、RS485ポートの設定内容は、[カメラ] - [PTZ] の設定にも反映されます。



■UPS

[ポート]

シリアルインターフェースを選択します。

なし、RS232C (画面表示はRS232)、RS485

初期値: なし

このとき、PTZカメラ、UPS、電波時計が同じポートを使用しているとポート重複の警告が表示されます。

[設定] ボタン

選択するとポート設定画面が表示されます。

詳細は「PTZカメラの設定を行う」 - 「■ポート設定 - <インターフェース名> 画面」( 35ページ) を参照してください。

接続する各装置の説明書に従って、ポートを設定します。

■電波時計

[ポート]、[設定] ボタンの説明は上記「■UPS」を参照してください。

メモ

- 電波時計と本機が正常に接続されていると、30分毎に電波時計の時刻に本機の時刻が同期されます。電波時計との接続および設定方法は電波時計の説明書をお読みください。

ネットワークの設定を行う

基本的な設定を行う [基本]

ネットワークの基本的な設定を行います。



■ 遠隔監視

伝送速度、画質、解像度の設定を行います。

[bps] または [ips] ([bps/ips] の設定による)
伝送速度を選択します。

HL316 1.1 Mbps ~ 1 Gbps,
1.00 ips ~ 30.00 ips

HL308 550 Kbps ~ 100.0 Mbps,

HL304 300 Kbps ~ 100.0 Mbps,
1.00 ips ~ 15.00 ips

初期値: **HL316** 30.00 ips (1.6 Mbps)

HL308 **HL304** 15.0 ips (1.0 Mbps)

【画質】

伝送する画質を選択します。

最高画質、高画質、標準画質、低画質

初期値: 標準画質

【解像度】

標準 [FRAME (CIF)] 以外はグレーで選択できません。

標準 [FRAME (CIF)]、(最高 [FHD (FRAME)]、
(高解像度 [HD (FIELD)])

初期値: 標準 [FRAME (CIF)]

メモ

- 画質と解像度を高く設定するには、速い伝送速度を設定してください。
- ネットワーク環境によっては、設定した伝送速度が出ないことがあります。

【ネットワーク帯域制限】

伝送するネットワークの帯域幅を制限します。
テキストボックスを選択し、上下ボタンを押して最大帯域幅を設定します。

HL316 1.0 Mbps ~ 1 Gbps

HL308 **HL304** 1.0 Mbps ~ 100.0 Mbps

初期値: **HL316** 1 Gbps

HL308 **HL304** 100.0 Mbps

メモ

- ネットワーク帯域幅を制限すると、ウェブブラウザでの遠隔監視映像の動きが不自然になることがあります。

【音声配信】

PCのウェブブラウザと双方向音声通信を行う音声チャンネルを選択します。

「ブラウザより選択」を選択すると、ウェブブラウザから選択されたチャンネルの音声を送信します。

ブラウザより選択、

HL316 1.CAM1 ~ 16.CAM16

HL308 1.CAM1 ~ 8.CAM8

HL304 1.CAM1 ~ 4.CAM4

初期値: ブラウザーより選択

メモ

- ネットワークの状態によっては、送信中に音声がか断したり、同期が外れることがあります。

【データ伝送するためにSSLを適用】

チェックを入れるとデータ伝送にSSL認証を使用します。この場合、SSL認証に対応していないPCのウェブブラウザには接続できません。

初期値: チェック有り

重要

- SSLの設定を変更すると、PCとの接続が一時的に切断されます。

メモ

- SSL認証を使用する場合、ネットワーク転送速度が遅くなる場合があります。

ネットワークの設定を行う（つづき）

LANの設定を行う [LAN]



[タイプ]

ネットワークのパラメータ（IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク）の設定方法を選択します。

DHCP：パラメータをDHCPサーバーから取得します。
 選択すると「DHCP」画面（☞41ページ）が表示されます。

手動設定：パラメータを手動で設定します。

各パラメータの値を▲▼ボタンで増減させて変更してください。

初期値：IPアドレス 192.168.0.250
 ゲートウェイ 192.168.0.1
 サブネットマスク 255.255.255.0
 DNSサーバー 0.0.0.0

[ポート番号設定...] ボタン

ボタンを選択すると、ポート番号設定画面が表示されます。



[遠隔管理]

ウェブ監視ページやウェブ検索ページの設定メニューで使用するポート番号です。

▲▼ボタンで値を増減させて、遠隔管理のポート番号を設定します。

1 ~ 65535
 初期値：8200

[遠隔監視]

ウェブ監視ページで使用するポート番号です。

▲▼ボタンで値を増減させて、遠隔監視のポート番号を設定します。

1 ~ 65535
 初期値：8016

[遠隔検索]

ウェブ検索ページで使用するポート番号です。

▲▼ボタンで値を増減させて、遠隔検索のポート番号を設定します。

1 ~ 65535
 初期値：10019

メモ

- [遠隔管理]、[遠隔監視]、[遠隔検索]のポート番号は、ネットワーク管理者にご確認ください。
- 各ポート番号には、同一の番号を使用しないでください。

重要

- ポート設定を変更する場合、ウェブブラウザを実行するPCのポート設定も変更してください。

ネットワークの設定を行う（つづき）

[UPnPを使用する]

チェックを入れるとNAT（ネットワークアドレス変換）装置から本機に転送されたポートが、UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）サービスを通じて自動的に有効になります。

初期値：チェック無し

メモ

- UPnPサービスを使用するために、NAT装置でUPnPポート転送機能を有効にしておく必要があります。
- 「UPnPを使用する」にチェックが入っている場合、ポート設定は変更できません。

[状態] ボタン

ボタンを選択すると、UPnPサービスを通じてNAT装置から転送されたポート番号が表示されます。

[テスト] ボタン

ボタンを押すと、現在のLAN設定をテストします。

■ DHCP画面

メモ

- DHCPが選択されている場合、本機のIPアドレスは電源を入れるたびに変わることがあります。



[自動]

チェックを入れると、本機はDNSサーバーのIPアドレスを自動的に取得します。

初期値：チェック有り

[保存] ボタン

ボタンを押すと、DHCPサーバーから取得した本機の現在のIPアドレスを表示します。

ネットワークの設定を行う（つづき）

RTSPの設定を行う [RTSP]

リアルタイム監視をするためにRTSPの設定を行います。



[RTSPを使用する]

チェックを入れると、RTSP機能が有効になります。

初期値：チェック無し

[RTSPポート]

▲▼ボタンで値を増減させて、RTSPサーバーのポート番号を設定します。

1 ~ 65535

初期値：554

■ RTPポート

[RTPポート (先頭)]

▲▼ボタンで値を増減させて、RTSPサーバーの開始ポート番号を設定します。

1024 ~ 65535

初期値：16001

[RTPポート (末尾)]

▲▼ボタンで値を増減させて、RTSPサーバーの末尾ポート番号を設定します。

1024 ~ 65535

初期値：17000

[狭帯域配信モード]

チェックを入れると、モバイルデバイスを使用して、遠隔からアクセスできます。

初期値：チェック無し

メモ

- 「狭帯域配信モード」にチェックを入れると、[ブラウザ]の「ブラウザを使用する」にチェックが入っていない場合でも、ブラウザ機能が有効になります。
- NATまたはファイアウォールサービスを使用する場合は、すべてのUDPポートを開くことにより、モバイルデバイスを使用して、本機にアクセスできます。
- RTSPサービスに対応したメディアプレーヤーを使用して、PCから本機にアクセスしライブ監視できます。
PC上でメディアプレーヤーを起動し、「rtsp://ログインユーザー:ログインパスワード@IPアドレス:RTSPポート番号/trackID=カメラ番号」(例：
rtsp://ADMIN:12345@192.168.0.250:554/trackID=1)を入力するか、またはモバイルデバイス上でInternet Explorerを起動し、「http://IPアドレス:ウェブブラウザポート番号/」を入力します。
ネットワークの状態によっては、映像を適切に再生できないことがあります。プレーヤーの種類によっては、RTSPサービスに対応していない場合があります。

ネットワークの設定を行う（つづき）

ブラウザーの設定を行う [ブラウザー]



[ブラウザーを使用する]

チェックを入れると、ブラウザーからアクセスできます。

初期値：チェック無し

[ポート]

▲▼ボタンで値を増減させて、ブラウザーにアクセスするときに使用するポート番号を設定します。

1024 ~ 65534

初期値：12088

通知の設定を行う

メールの設定を行う [メール]

本機は、イベントが発生したときにEメールを送信するように設定できます。



[グループ & 受信先]

左のチェックボックスにチェックを入れると、イベントが発生したとき、「グループ & 受信者」宛てにメールを送信するよう設定できます。

メモ

- チェックボックスの左横に「+」または「-」がある場合、その項目がグループ名であることを示しています。
- グループ名の前に「-」がある場合、そのグループが展開されていることを示し、そのグループ内のすべての受信者名がグループ名の下に表示されています。グループ名の前に「+」がある場合、そのグループが折りたたまれていることを示し、そのグループ内のすべての受信者名が非表示となっています。グループを展開または折りたたむには、グループの前の「+」/「-」を選択します。
- ✕ は、受信者名、またはグループ全体の削除に使用します。✕ がグレー表示されている場合、そのグループまたは受信者を削除できません。
✕ を選択すると、受信者またはグループ削除の確認画面が表示されます。確認画面上で、グループ内の受信者を別のグループに移動させるかどうかを選択することができます。

[添付形式]

メールに添付するファイルの形式をプルダウンメニューから選択します。

なし：イベント発生時の画像を添付しません。

MP4：イベント発生時の映像をMP4形式でメールに添付します。

JPG：イベント発生時の画像をJPEG形式でメールに添付します。

初期値：なし

[+グループ] ボタン

ボタンを押すと「新しいグループ」画面（☞本ページ）が表示されます。

受信グループ名を追加し、メールに添付する画像ファイルのファイル形式を選択します。

[+メール] ボタン

ボタンを押すと「受信先」画面（☞45ページ）が表示され、メール受信者を追加します。

[SMTP設定] ボタン

ボタンを押すと「SMTP設定」画面（☞45ページ）が表示され、SMTPサーバーの設定を行います。

■ 新しいグループ



[グループ]

選択するとソフトキーボードが表示されます。

グループ名を入力します。

(英数記号スペース、1 ~ 31文字)

初期値：mail group_1

[添付形式]

プルダウンメニューからファイル形式を選択します。

なし：イベント発生時の画像を添付しません。

MP4：イベント発生時の映像をMP4形式でメールに添付します。

JPG：イベント発生時の画像をJPEG形式でメールに添付します。

初期値：なし

通知の設定を行う（つづき）

■ 受信先

【使用する】

チェックを入れると、登録するメールアドレスを使用します。

初期値：チェック有り

【グループ】

追加先の受信グループ名をプルダウンメニューから選択します。

【表示名】

追加する受信者の表示名をソフトキーボードから入力します。

【アドレス】

受信者のメールアドレスをソフトキーボードから入力します。

■ SMTP設定

【SMTPサーバー】

SMTPサーバーのIPアドレスまたはドメイン名をソフトキーボードから入力します。

メモ

- SMTPサーバーのIPアドレスまたはドメイン名は、ご使用のネットワーク管理者にご確認ください。
- LANの設定時にDNSサーバーを既に設定している場合、IPアドレスの代わりにドメイン名を使用できます。

【ポート】

▲▼ボタンで値を増減させて、SMTPサーバーのポート番号を入力します。

初期値：25

【SSL/TLS使用】

プルダウンメニューから選択した認証方式のSMTPサーバー経由で、メールを送信します。

なし、SSL/TLS、STARTTLS

初期値：なし

【認証設定】

選択すると「認証設定」画面（本ページ）が表示され、ユーザー名、パスワードを入力できます。

【送信元】

選択すると「送信元」画面（本ページ）が表示され、送信元のメールアドレスを入力します。

【テスト】 ボタン

ボタンを押すと、現在の設定でメールの送信テストを行います。

■ 認証設定

【使用する】

チェックを入れると、認証を使用します。

初期値：チェック無し

【ユーザー】

認証用のユーザー名をソフトキーボードから入力します。

【パスワード】

認証用のユーザー名に対するパスワードをソフトキーボードから入力します。

■ 送信元

【表示名】

送信元の表示名をソフトキーボードから入力します。

【アドレス】

送信元のメールアドレスをソフトキーボードから入力します。

通知の設定を行う（つづき）

スケジュールの設定を行う [スケジュール]

通知スケジュールの追加と変更を行います。[+] ボタンを押して、スケジュールを追加します。



[番号]

スケジュールの番号です。

[曜日]

通知スケジュールを有効にする曜日を選択します。

日、月、火、水、木、金、土、月～金、休日、全て
初期値：全て

[範囲]

通知スケジュールを有効にする時間帯を選択します。

00:00 ～ 24:00

左右の時刻を、▲▼ボタンで増減（15分単位）します。

初期値：00:00 ～ 24:00

[通知]

選択すると下記の「スケジュール<番号>：通知」画面が表示されます。



[通知]

チェックを入れると、リスト全体の通知が有効になります。

[メール（<数値> / <数値>）]、

[サマリー（<数値> / <数値>）]

チェックを入れたリストの各項目が有効になります。

<数値> は、送信グループ数およびメールアドレスの登録グループ数を表しています。

例えば(0/1) は送信グループ数：0、メールアドレスの登録グループ数：1 を表しています。

メモ

- 通知動作について、選択する通知項目は通知設定画面で有効にします。
- システムメニュー上のシステムイベント設定画面内で設定を行ったシステムイベントの通知動作は、通知スケジュール設定の影響を受けません。

[+] ボタン

ボタンを押してスケジュールを追加します。

[サマリーメール間隔]

サマリーメールを送信する間隔を選択します。

しない、30分、1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間、9時間、12時間、18時間、1日

初期値：しない

メモ

- サマリーメールとは、検出したイベントや状態などを要約したメールを設定された時間ごとに送信する機能です。

[X]

スケジュールの削除に使用します。

表示の設定を行う

OSDの設定を行う [OSD]

OSD情報（テキスト文字列、アイコン）をモニター画面に表示するよう設定します。



■ 状態

[電子ズーム]

チェックを入れると、電子ズームモードのとき画面に アイコンを表示します。

初期値：チェック有り

[ネットワーク]

チェックを入れると、ネットワークに接続したとき、 アイコンを表示します。

初期値：チェック有り

[フリーズ&シーケンス]

チェックを入れると、フリーズモード (66ページ) のとき、 アイコンを、また、シーケンスモード (66ページ) のとき アイコンを表示します。

初期値：チェック有り

[画面グループ]

チェックを入れると、下記の多画面表示以外のとき、画面に画面グループの番号を表示します。

- ・ HL316 : 4×4
- ・ HL308 : 3×3、1+7
- ・ HL304 : 2×2

初期値：チェック有り

[HDD残容量]

チェックを入れると、上書きモードのときは アイコンを表示し、上書きモードでないときはHDD残容量をパーセント表示します。

初期値：チェック有り

[日付]

チェックを入れると、ライブ監視モードでは現在の日付を、再生モードでは再生している映像の日付を画面に表示します。

初期値：チェック有り

[時間]

チェックを入れると、ライブ監視モードでは現在の時刻を、再生モードでは再生している映像の時刻を画面に表示します。

初期値：チェック有り

[情報バー]

チェックを入れると、画面下部に表示されるバーの背景が黒色になります。

初期値：チェック有り

■ カメラ

[番号]

チェックを入れると、カメラ画面の左上隅に、カメラ番号を表示します。

初期値：チェック無し

[タイトル]

チェックを入れると、カメラ画面の左上隅に、カメラタイトルを表示します。

初期値：チェック有り

[録画]

チェックを入れると、カメラ画面に、録画関連アイコンを表示します。

初期値：チェック有り

[音声]

チェックを入れると、ライブ音声や録音を再生可能なカメラ画面に、 アイコンを表示します。

初期値：チェック有り

[PTZ]

チェックを入れると、PTZカメラ画面に、 アイコンを表示します。

初期値：チェック有り

[透過性]

スライダーで、設定画面の透過性を設定します。

[OSD余白] ボタン

選択すると下記の「OSD余白」画面が表示されます。水平および垂直余白を調整して、文字列とアイコンがモニター画面の端で切れないように設定します。



表示の設定を行う（つづき）

メインモニターの設定を行う [メインモニター]



■シーケンス

[モード] **HL316** **HL308**

プルダウンメニューからシーケンスモードで表示する画面を選択します。

全画面シーケンス：画面全体のカメラが定期的に切り換わります。

部分画面シーケンス：多画面表示の右下のカメラだけが定期的に切り換わります。

初期値：全画面シーケンス

メモ

- オフ状態、ビデオロス状態、非表示に設定状態のカメラ（非表示カメラの表示権限を持っている場合を除く）は、部分画面シーケンスから除外されます。
- シーケンスは、下記の多画面表示以外のとき動作します。
 - ・ HL316：4×4
 - ・ HL308：3×3、1+7
 - ・ HL304：2×2
- 部分画面シーケンスで1面表示のときはシーケンス動作しません。

[カメラ切換間隔]

プルダウンメニューからカメラの切換時間を設定します。

1秒、2秒、3秒、4秒、5秒、10秒、15秒、30秒、1分

初期値：3秒

[イベント連動表示]

チェックを入れると、イベントが発生したとき、イベントに関連したカメラを表示します。

初期値：チェック無し

[解像度]

プルダウンメニューからメインモニターの解像度を選択します。

1280×1024 / 1440×900 / 1920×1080

HL316 3840×2160

初期値：1920×1080

重要

- 解像度を変更すると、変更を有効にするため再起動が必要になります。

メモ

- メインモニターが選択した解像度に対応していない場合は、適切な解像度で表示します。

[解像度手動設定]

チェックを入れると、接続されたモニターの解像度情報に関わらず、希望する解像度を手動で設定することができます。

初期値：チェック無し

[画面に合わせる]

チェックを入れると、メインモニター内の映像を表示枠に合うように表示します。

初期値：チェック有り

メモ

- このとき、映像の縦横の比率は変わります。

[モニター解像度情報]

本機が対応している解像度一覧を表示します。

表示の設定を行う（つづき）

スポットモニターの設定を行う [スポットモニター]

HL316



■シーケンス

スポットモニターのシーケンス動作を設定します。

【番号】

スポットモニターの番号です。
本機は常に「1」です。

【チャンネル】

選択すると、「スポットモニター 1 : チャンネル」画面が表示されます。

スポットモニター上に順番に表示されるカメラを設定します。

■スポットモニター 1 : チャンネル

スポットモニター 1: チャンネル			
カメラ	時間	カメラ	時間
<input checked="" type="checkbox"/> 1. CAM1	1 秒	<input checked="" type="checkbox"/> 9. CAM9	1 秒
<input checked="" type="checkbox"/> 2. CAM2	1 秒	<input checked="" type="checkbox"/> 10. CAM10	1 秒
<input checked="" type="checkbox"/> 3. CAM3	1 秒	<input checked="" type="checkbox"/> 11. CAM11	1 秒
<input checked="" type="checkbox"/> 4. CAM4	1 秒	<input checked="" type="checkbox"/> 12. CAM12	1 秒
<input checked="" type="checkbox"/> 5. CAM5	1 秒	<input checked="" type="checkbox"/> 13. CAM13	1 秒
<input checked="" type="checkbox"/> 6. CAM6	1 秒	<input checked="" type="checkbox"/> 14. CAM14	1 秒
<input checked="" type="checkbox"/> 7. CAM7	1 秒	<input checked="" type="checkbox"/> 15. CAM15	1 秒
<input checked="" type="checkbox"/> 8. CAM8	1 秒	<input checked="" type="checkbox"/> 16. CAM16	1 秒

【カメラ】

チェックを入れると、すべてのカメラにチェックが入ります。

【1.CAM1 ~ 16.CAM16】

チェックを入れたカメラが、シーケンス時にスポットモニター画面に表示されます。

初期値：チェック有り

【時間】

プルダウンメニューからカメラの切換時間を選択します。

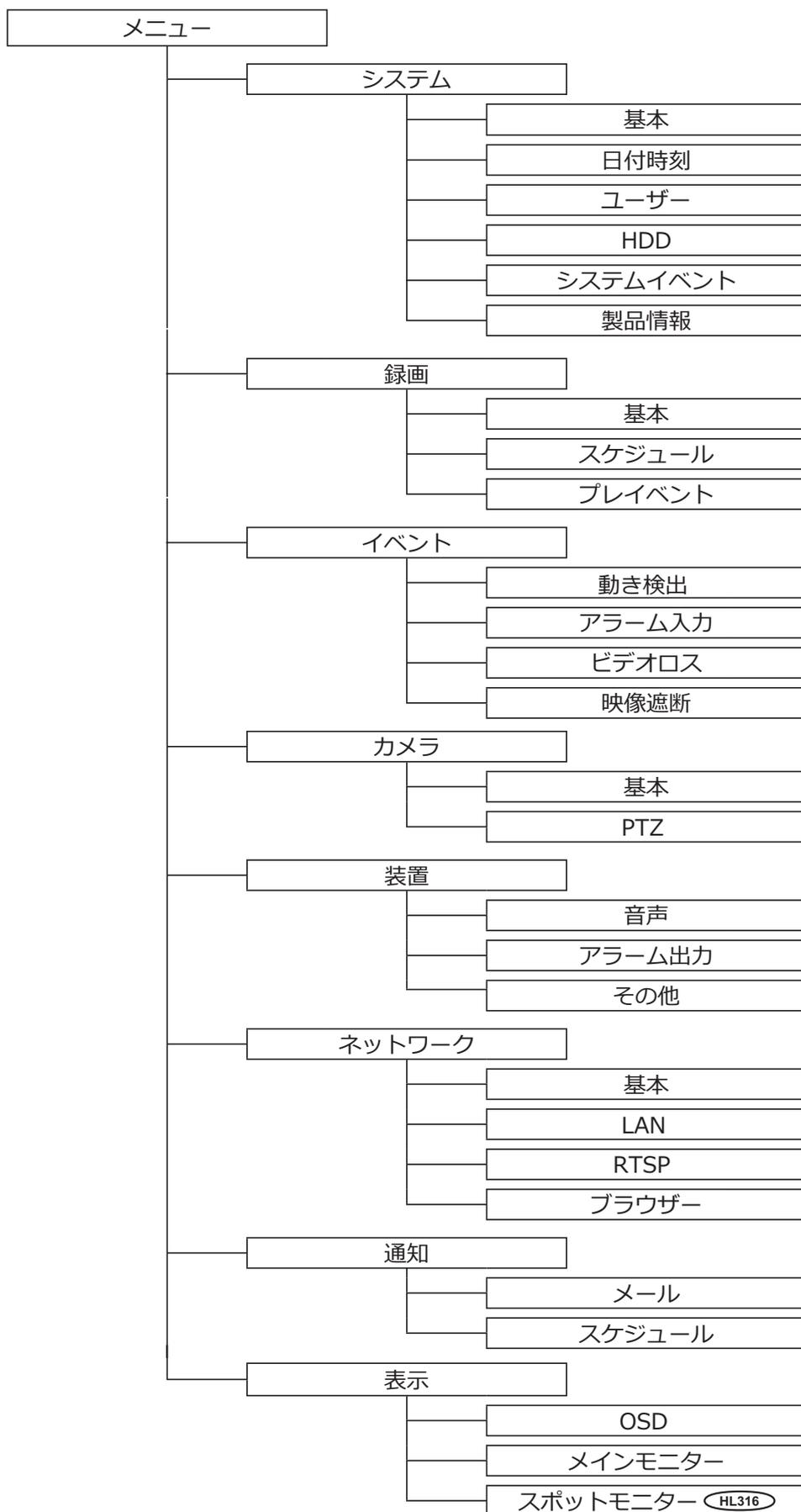
1秒～ 20秒（1秒ごと）

初期値：1秒

メモ

- カメラタイトルの設定により、「1.CAM1 ~ 16.CAM16」表示は変わります。

メニュー項目一覧



設定項目一覧（設定メニュー）

設定

（以下の設定項目は、ウェブブラウザの「ウェブ監視ページ」や「ウェブ検索ページ」の設定メニューからも設定できます。）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
システム	基本	Language	日本語、English	日本語		
		バージョン	(表示のみ)	(表示のみ)		
		簡単設定（日付/時間・録画・ネットワーク）	らくらく日付時刻・録画設定、らくらくネットワーク設定	らくらく日付時刻・録画設定		
		らくらく日付/時間・録画設定	日付	1970/1/1～2030/12/31	現在日付	
			表示形式	YYYY/MM/DD、MM/DD/YYYY、DD/MM/YYYY	YYYY/MM/DD	
			時間	00:00:00-23:59:59	現在時刻	
			表示形式	hh:mm:ss、午前/午後 hh:mm:ss	hh:mm:ss	
			録画方式	動き自動検出（VMD）録画、スケジュール録画/動き自動検出（VMD）録画、スケジュール録画	スケジュール録画	
		録画画質	画質優先、標準、記録時間優先	画質優先		
		らくらくネットワーク設定	インターネットサービスの選択	はい（インターネットサービスを使用します）、いいえ（インターネットサービスを使用しません）	はい	
	LAN・UPnPに関する設定		自動設定、手動設定	自動設定		
	IPアドレス		(IPアドレス)	192.168.0.250		
	ゲートウェイ		(ゲートウェイアドレス)	192.168.0.1		
	サブネットマスク		(サブネットマスクアドレス)	255.255.255.0		
	DNSサーバー		(DNSサーバーアドレス)	0.0.0.0		
	日付/時間	日付	1970/1/1～2030/12/31	現在日付		
		表示形式	YYYY/MM/DD、MM/DD/YYYY、DD/MM/YYYY	YYYY/MM/DD		
		時間	00:00:00-23:59:59	現在時刻		
		表示形式	hh:mm:ss、午前/午後 hh:mm:ss	hh:mm:ss		
		NTPサーバー	自動同期	チェック 有/無	無	
			NTPサーバー	(テキスト入力)	空白	
同期間隔			30分、1時間、2時間、3時間、6時間、9時間、12時間、1日	1時間		
前回同期日時			(表示のみ)	(表示のみ)		
サーバーとして動作			チェック 有/無	無		
休日		番号	(表示のみ)	(表示のみ)		
	日付	日付	空白			
ユーザー	グループとユーザー		(表示のみ)	Administrator admin ^{*1}		
	グループ (Administrator)	全て選択	(設定不可)	空白		
		システム終了	(設定不可)	有		
		アップグレード	(設定不可)	有		
		色調整	(設定不可)	有		
		PTZ制御	(設定不可)	有		
		アラーム出力制御	(設定不可)	有		
		非表示カメラの表示	(設定不可)	有		
		検索	(設定不可)	有		
	クリップコピー	(設定不可)	有			

※1 初回起動時の登録例

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考			
システム	ユーザー	グループ (Administrator)	設定	(設定不可)	有			
			システム時間変更	(設定不可)	有			
			データ削除	(設定不可)	有			
			PTZ設定	(設定不可)	有			
			アラーム出力設定	(設定不可)	有			
			非表示カメラ設定	(設定不可)	有			
			録画設定	(設定不可)	有			
			設定読込	(設定不可)	有			
			設定保存	(設定不可)	有			
	ユーザー (admin※1)		ユーザー	登録したユーザー名	admin※1			
			グループ	登録したグループ名	Administrator			
			パスワード	(テキスト入力)	*****			
			確認	(テキスト入力)	*****			
	+グループ		グループ	(テキスト入力)	空白			
			全て選択	チェック 有/無	無			
			システム終了	チェック 有/無	有			
			アップグレード	チェック 有/無	有			
			色調整	チェック 有/無	有			
			PTZ制御	チェック 有/無	有			
			アラーム出力制御	チェック 有/無	有			
			非表示カメラの表示	チェック 有/無	有			
			検索	チェック 有/無	有			
			クリップコピー	チェック 有/無	有			
			設定	チェック 有/無	有			
			システム時間変更	チェック 有/無	有			
			データ削除	チェック 有/無	有			
			PTZ設定	チェック 有/無	有			
			アラーム出力設定	チェック 有/無	有			
			録画設定	チェック 有/無	有			
			設定読込	チェック 有/無	有			
			+ユーザー		ユーザー	(テキスト入力)	空白	
					グループ	登録したグループ名	Administrator	
	パスワード	(テキスト入力)			空白			
	確認	(テキスト入力)			空白			
	オートログイン			登録したユーザー名	空白			
	オートログアウト			しない、1分、3分、5分、10分、15分、20分、30分、1時間	しない			
	HDD	タイプ		(表示のみ)	(表示のみ)			
		容量		(表示のみ)	(表示のみ)			
		フォーマット			録画、使用しない	録画		
		情報	-	-	-	-		
			-	-	-	-		
			録画データ	-	-	(タイトル)		
			開始	(表示のみ)	(表示のみ)	(表示のみ)		
	終了	(表示のみ)	(表示のみ)	(表示のみ)				
	システムイベント	システム	設定	しない、1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間、7時間、8時間、9時間、10時間、11時間、12時間、18時間、1日、7日、15日、30日	しない			
			メール	チェック 有/無	有			

※1 初回起動時の登録例

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
システム	システムイベント	システム起動	メール	チェック 有/無	有	
		システム再起動	メール	チェック 有/無	有	
		システム終了	メール	チェック 有/無	有	
		緊急録画	メール	チェック 有/無	無	
			警告ウィンドウ	チェック 有/無	無	
		録画状態確認	スケジュール動作	チェック 有/無	無	
			番号	1 ~ 20	1	
			曜日	日、月、火、水、木、金、土、月~金、休日、全て	全て	
			範囲	00:00 ~ 24:00	00:00 ~ 24:00	
			確認間隔	しない、1分、2分、1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間、7時間、8時間、9時間、10時間、11時間、12時間、18時間、1日、7日	1分	
			<small>HL316</small> アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無	
			<small>HL308</small> <small>HL304</small> アラーム出力 (Alarm Out1)			
			アラーム出力 (ブザー)	チェック 有/無	有	
		メール	チェック 有/無	無		
		警告ウィンドウ	チェック 有/無	有		
		アラーム入力確認	設定		オフ	
			確認間隔	しない、1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間、7時間、8時間、9時間、10時間、11時間、12時間、18時間、1日、7日、15日、30日	しない	
			<small>HL316</small> アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無	
			<small>HL308</small> <small>HL304</small> アラーム出力 (Alarm Out1)			
			アラーム出力 (ブザー)	チェック 有/無	有	
			メール	チェック 有/無	無	
		ディスクフル警告	警告ウィンドウ	チェック 有/無	有	
			設定	80%、85%、90%、95%、96%、97%、98%、99%	90%	
			<small>HL316</small> アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無	
			<small>HL308</small> <small>HL304</small> アラーム出力 (Alarm Out1)			
			アラーム出力 (ブザー)	チェック 有/無	有	
			メール	チェック 有/無	無	
		警告ウィンドウ	チェック 有/無	有		

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
システム	システムイベント	ディスクフル	HL316 アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無	
			HL308 HL304 アラーム出力 (Alarm Out1)			
			アラーム出力 (ブザー)	チェック 有/無	有	
			メール	チェック 有/無	無	
			警告ウィンドウ	チェック 有/無	有	
			ディスクエラー	設定	10%、20%、30%、40%、50%、 60%、70%、80%、90%	50%
		ディスクエラー	HL316 アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無	
			HL308 HL304 アラーム出力 (Alarm Out1)			
			アラーム出力 (ブザー)	チェック 有/無	有	
			メール	チェック 有/無	有	
			警告ウィンドウ	チェック 有/無	有	
			ディスク温度	設定	0-100℃	70℃
		ディスク温度	HL316 アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無	
			HL308 HL304 アラーム出力 (Alarm Out1)			
			アラーム出力 (ブザー)	チェック 有/無	有	
			メール	チェック 有/無	有	
			警告ウィンドウ	チェック 有/無	有	
			ディスク S.M.A.R.T.	HL316 アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無
		ディスク S.M.A.R.T.	HL308 HL304 アラーム出力 (Alarm Out1)			
			アラーム出力 (ブザー)	チェック 有/無	有	
			メール	チェック 有/無	有	
			警告ウィンドウ	チェック 有/無	有	
		ディスク構成変更	HL316 アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無	
			HL308 HL304 アラーム出力 (Alarm Out1)			
アラーム出力 (ブザー)	チェック 有/無		有			
メール	チェック 有/無		有			
警告ウィンドウ	チェック 有/無		有			

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考		
システム	システムイベント	ファンエラー	HL316 アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無		
			HL308 HL304 アラーム出力 (Alarm Out1)				
			アラーム出力 (ブザー)	チェック 有/無	有		
			メール	チェック 有/無	有		
			警告ウィンドウ	チェック 有/無	有		
			録画可能ディスクなし	HL316 アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無	
			HL308 HL304 アラーム出力 (Alarm Out1)				
			アラーム出力 (ブザー)	チェック 有/無	有		
			メール	チェック 有/無	有		
			警告ウィンドウ	チェック 有/無	無		
			ログイン5回失敗	HL316 アラーム出力 (Alarm Out1-4)	チェック 有/無	無	
				HL308 HL304 アラーム出力 (Alarm Out1)			
				アラーム出力(ブザー)	チェック 有/無	無	
				メール	チェック 有/無	有	
		録画	基本	上書	チェック 有/無	有	
イベント録画時間	5秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒、 40秒、50秒、1分、1分15秒、1分30秒、 1分45秒、2分、3分、4分、5分、6分、 7分、8分、9分、10分、15分、30分			5秒			
録音	チェック 有/無			無			
自動消去	0（しない） - 999日			0（しない）			
緊急録画を使用する	チェック 有/無			有			
緊急録画時間	制限なし、5分、10分、15分、30分、 45分、1時間			制限なし			
ips	1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、 5.00 ips、6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、 9.00 ips、10.00 ips、15.00 ips、 20.00 ips、30.00 ips			30.00 ips			
画質	低画質、標準画質、高画質、最高画質			高画質			
解像度	標準 [FRAME (CIF)]、高解像度 [HD (FIELD)]、最高 [FHD (FRAME)]			高解像度 [HD (FIELD)]			
スケジュール	スケジュールオン			チェック 有/無	有		
			簡単モード、詳細モード	簡単モード			
	番号		1 - 20	1			
	曜日		日、月、火、水、木、金、土、月~金、 休日、全て	全て			
	時間範囲		00 : 00 ~ 24 : 00	00 : 00 ~ 24 : 00			
	モード（簡単モードのみ）		録画しない、スケジュール、イベント、 スケジュール&イベント	スケジュー ル&イベント			
	カメラ（簡単モードのみ）		HL316 1 ~ 16 HL308 1 ~ 8 HL304 1 ~ 4	HL316 1 ~ 16 HL308 1 ~ 8 HL304 1 ~ 4			

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
録画	スケジュール	設定（簡単モード）	スケジュール（ips）	1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、5.00 ips、6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、9.00 ips、10.00 ips、15.00 ips、20.00 ips、30.00 ips	10.00 ips	
			スケジュール（画質）	低画質、標準画質、高画質、最高画質	最高画質	
			スケジュール（解像度）	標準 [FRAME (CIF)]、高解像度 [HD (FIELD)]、最高 [FHD (FRAME)]	最高 [FHD(FRAME)]	
			イベント（ips）	1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、5.00 ips、6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、9.00 ips、10.00 ips、15.00 ips、20.00 ips、30.00 ips	30.00 ips	
			イベント（画質）	低画質、標準画質、高画質、最高画質	最高画質	
			イベント（解像度）	標準 [FRAME (CIF)]、高解像度 [HD (FIELD)]、最高 [FHD (FRAME)]	最高 [FHD(FRAME)]	
	スケジュール	設定（詳細モード）	タイプ スケジュール、アラーム入力、動き検出、ビデオロス、映像遮断	<small>HL316</small> (1～16) <small>HL308</small> (1～8) <small>HL304</small> (1～4)	－	
			ips	録画しない、1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、5.00 ips、6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、9.00 ips、10.00 ips、15.00 ips、20.00 ips、30.00 ips	－	
			画質	低画質、標準画質、高画質、最高画質	－	
			解像度	標準、高解像度、最高	－	
			時間（スケジュール以外）	5秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒、40秒、50秒、1分、1分15秒、1分30秒、1分45秒、2分、3分、4分、5分、6分、7分、8分、9分、10分、15分、30分	－	
			初期値	モード	スケジュール、イベント	(表示のみ)
	スケジュール	初期値	スケジュール（ips）	1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、5.00 ips、6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、9.00 ips、10.00 ips、15.00 ips、20.00 ips、30.00 ips	10.00 ips	
			スケジュール（画質）	低画質、標準画質、高画質、最高画質	最高画質	
			スケジュール（解像度）	標準 [FRAME (CIF)]、高解像度 [HD (FIELD)]、最高 [FHD (FRAME)]	最高 [FHD(FRAME)]	
			スケジュール（時間）（詳細モードのみ）	－	－	
			イベント（ips）	1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、5.00 ips、6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、9.00 ips、10.00 ips、15.00 ips、20.00 ips、30.00 ips	30.00 ips	
			イベント（画質）	低画質、標準画質、高画質、最高画質	最高画質	
			イベント（解像度）	標準 [FRAME (CIF)]、高解像度 [HD (FIELD)]、最高 [FHD (FRAME)]	最高 [FHD(FRAME)]	
			イベント（時間）（詳細モードのみ）	5秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒、40秒、50秒、1分、1分15秒、1分30秒、1分45秒、2分、3分、4分、5分、6分、7分、8分、9分、10分、15分、30分	5秒	

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
録画	プレイベント	番号 (HL316 1～16、HL308 1～8、HL304 1～4)	チェック 有/無	無		
		ips	1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、5.00 ips、6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、9.00 ips、10.00 ips、15.00 ips、20.00 ips、30.00 ips	30.00 ips		
		画質	低画質、標準画質、高画質、最高画質	最高画質		
		解像度	標準 [FRAME (CIF)]、高解像度 [HD (FIELD)]、最高 [FHD (FRAME)]	最高 [FHD (FRAME)]		
		時間	00分05秒-30分00秒	00分05秒		
イベント	動き検出	番号 (HL316 1～16、HL308 1～8、HL304 1～4)	チェック 有/無	無		
		感度	昼間：1（低感度）、2、3、4、5（高感度） 夜間：1（低感度）、2、3、4、5（高感度）	3/3		
		エリア	1～192	192		
		最小ブロック	昼間：1～192（エリアの最大値） 夜間：1～192（エリアの最大値）	1/1		
		エリアビュー（可視化）	チェック 有/無	無		
		マスク間隔	しない、1秒、2秒、3秒、4秒、5秒、6秒、7秒、8秒、9秒、10秒	2秒		
		動作	録画	HL316 1～16（チェック 有/無） HL308 1～8（チェック 有/無） HL304 1～4（チェック 有/無）	チェックを入れ、選択した番号	
			アラーム出力	HL316 1.Alarm Out 1～4.Alarm Out 4、ブザー（チェックボックス） HL308 HL304 1.Alarm Out 1、ブザー（チェックボックス）	ブザー	
			通知	メール、警告ウィンドウ（チェックボックス）	（選択無し）	
			PTZ	なし、1～256	なし	
			スポットモニター	HL316 なし、1.CAM1～16.CAM16	なし	
		昼間設定	00：00～24：00	09：00～18：00		
		アラーム入力		番号 (HL316 1～16、HL308 1～8、HL304 1～4)	チェック 有/無	無
タイトル	（テキスト入力）			Alarm-In<番号>		
タイプ	NO、NC			NC		
動作	録画			HL316 1～16（チェック 有/無） HL308 1～8（チェック 有/無） HL304 1～4（チェック 有/無）	チェックを入れ、選択した番号	
	アラーム出力			HL316 1.Alarm Out 1～4.Alarm Out 4、ブザー（チェックボックス） HL308 HL304 1.Alarm Out 1、ブザー（チェックボックス）	ブザー	
	通知			メール、警告ウィンドウ（チェックボックス）	（選択無し）	
	PTZ			なし、1～256	なし	
スポットモニター	HL316 なし、1.CAM1～16.CAM16	なし				

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
イベント	ビデオロス	番号 (HL316 1～16、HL308 1～8、HL304 1～4)	(表示のみ)	(表示のみ)		
		ビデオロス検出期間	0.1秒～15.0秒	0.1秒		
		動作	録画	HL316 1～16 (チェック 有/無) HL308 1～8 (チェック 有/無) HL304 1～4 (チェック 有/無)	無	
			アラーム出力	HL316 1.Alarm Out 1～4.Alarm Out 4、 ブザー (チェックボックス) HL308 HL304 1.Alarm Out 1、ブザー (チェックボックス)	ブザー	
			通知	メール、警告ウィンドウ (チェックボックス)	(選択無し)	
			PTZ	なし、1～256	なし	
			スポットモニター	HL316 なし、1.CAM1～16.CAM16	なし	
		マスク時間有効化		チェック 有/無	無	
		時間設定	マスク時間	00:00～24:00	18:00～09:00	
		映像遮断		番号 (HL316 1～16、HL308 1～8、HL304 1～4)	チェック 有/無	無
感度	黒:0 (しない)、1～15 白:0 (しない)、1～15			1/1		
検出待ち時間	使用しない、3秒、5秒、10秒、15秒、30秒、1分、2分、3分、5分			5秒		
動作	録画			HL316 1～16 (チェック 有/無) HL308 1～8 (チェック 有/無) HL304 1～4 (チェック 有/無)	無	
	アラーム出力			HL316 1.Alarm Out 1～4.Alarm Out 4、 ブザー (チェックボックス) HL308 HL304 1.Alarm Out 1、ブザー (チェックボックス)	ブザー	
	通知			メール、警告ウィンドウ (チェックボックス)	(選択無し)	
	PTZ			なし、1～256	なし	
	スポットモニター			HL316 なし、1.CAM1～16.CAM16	なし	
マスク時間有効化				チェック 有/無	無	
時間設定	マスク時間			00:00～24:00	18:00～09:00	
カメラ	基本	番号 (HL316 1～16、HL308 1～8、HL304 1～4)	チェック 有/無	有		
		タイトル	(テキスト入力)	CAM<番号>		
		表示モード	通常、非表示1、非表示2	通常		
		カメラタイプ	自動、SD、HD	自動		
		解像度モード	自動、720、Full HD	自動		
	PTZ		番号 (HL316 1～16、HL308 1～8、HL304 1～4)	(表示のみ)	(表示のみ)	
			品番	なし、Panasonic	なし	
			ID	1～256	1	
			最大プリセット	1～256	1	
			ポート	なし、RS232、RS485	なし	

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
カメラ	PTZ	ポートごとの設定 (ポート：RS232)	ボーレート	300、600、1200、2400、4800、 9600、19200、38400、57600、 115200	19200	
			データ長	7、8	8	
			ストップビット	1、2	1	
			パリティ	なし、奇数、偶数	なし	
		ポートごとの設定 (ポート：RS485)	ボーレート	300、600、1200、2400、4800、 9600、19200、38400、57600、 115200	19200	
			データ長	7、8	8	
			ストップビット	1、2	1	
			パリティ	なし、奇数、偶数	なし	
装置	音声	番号1	カメラ割付	<small>HL316</small> なし、1.CAM1～16.CAM16 <small>HL308</small> なし、1.CAM1～8.CAM8 <small>HL304</small> なし、1.CAM1～4.CAM4	なし	
		番号2	カメラ割付	<small>HL316</small> なし、1.CAM1～16.CAM16 <small>HL308</small> なし、1.CAM1～8.CAM8 <small>HL304</small> なし、1.CAM1～4.CAM4	なし	
		番号3	カメラ割付	<small>HL316</small> なし、1.CAM1～16.CAM16 <small>HL308</small> なし、1.CAM1～8.CAM8 <small>HL304</small> なし、1.CAM1～4.CAM4	なし	
		番号4	カメラ割付	<small>HL316</small> なし、1.CAM1～16.CAM16 <small>HL308</small> なし、1.CAM1～8.CAM8 <small>HL304</small> なし、1.CAM1～4.CAM4	なし	
		音声出力		チェック 有/無	有	
	アラーム出力	時間		5秒、10秒、15秒、20秒、25秒、30秒、 40秒、50秒、1分、1分15秒、1分30秒、 1分45秒、2分、3分、4分、5分、6分、 7分、8分、9分、10分、15分、30分	5秒	
		タイトル	タイトル1	(テキスト入力)	Alarm Out 1	
			タイトル2 <small>HL316</small>	(テキスト入力)	Alarm Out 2	
			タイトル3 <small>HL316</small>	(テキスト入力)	Alarm Out 3	
			タイトル4 <small>HL316</small>	(テキスト入力)	Alarm Out 4	
			N.O.⇒N.C.(反転) 1	チェック 有/無	無	
			N.O.⇒N.C.(反転) 2 <small>HL316</small>	チェック 有/無	無	
			N.O.⇒N.C.(反転) 3 <small>HL316</small>	チェック 有/無	無	
			N.O.⇒N.C.(反転) 4 <small>HL316</small>	チェック 有/無	無	
		番号		1～20	1	
		曜日		日、月、火、水、木、金、土、月～金、 休日、全て	全て	
		時間範囲		00:00～24:00	00:00～ 24:00	
モード		イベント、オン、オフ	イベント			
動作	アラーム出力		チェック 有/無	無		
	1. Alarm Out 1		チェック 有/無	有		
	2. Alarm Out 2 <small>HL316</small>		チェック 有/無	有		
	3. Alarm Out 3 <small>HL316</small>		チェック 有/無	有		
	4. Alarm Out 4 <small>HL316</small>		チェック 有/無	有		
	ブザー		チェック 有/無	有		

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考	
装置	その他	UPS	ポート	なし、RS232、RS485	なし		
		設定（ポート：RS232）	ボーレート	300、600、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200	19200		
			データ長	7、8	8		
			ストップビット	1、2	1		
			パリティ	なし、奇数、偶数	なし		
		設定（ポート：RS485）	ボーレート	300、600、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200	19200		
			データ長	7、8	8		
			ストップビット	1、2	1		
			パリティ	なし、奇数、偶数	なし		
		UPS製品			UPS (OMRON BU50SW)	空白	
		電波時計	ポート	なし、RS232、RS485	なし		
		設定（ポート：RS232時）	ボーレート	300、600、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200	19200		
			データ長	7、8	8		
			ストップビット	1、2	1		
			パリティ	なし、奇数、偶数	なし		
		設定（ポート：RS485時）	ボーレート	300、600、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200	19200		
			データ長	7、8	8		
			ストップビット	1、2	1		
			パリティ	なし、奇数、偶数	なし		
		電波時計製品			電波時計（リズム時計）	空白	
ネットワーク	基本	ストリーム	bps/ips (ips) 選択時	1.00 ips、2.00 ips、3.00 ips、4.00 ips、5.00 ips、6.00 ips、7.00 ips、8.00 ips、9.00 ips、10.00 ips、15.00 ips、20.00 ips、30.00 ips	^{HL316} 30.00 ips ^{HL308} ^{HL304} 15.00 ips		
			bps/ips (bps) 選択時	^{HL316} 1.1 Mbps～1 Gbps ^{HL308} 550 Kbps～100.0 Mbps ^{HL304} 300 Kbps～100.0 Mbps	^{HL316} 1.6 Mbps ^{HL308} ^{HL304} 1.0 Mbps		
			画質	低画質、標準画質、高画質、最高画質	標準画質		
			解像度	標準 [FRAME (CIF)]、(最高 [FHD (FRAME)]、(高解像度 [HD (FIELD)])	標準 [FRAME (CIF)]		
		bps/ips			ips、bps	ips	
		ネットワーク帯域制限			^{HL316} 1.0 Mbps～1 Gbps ^{HL308} ^{HL304} 1.0 Mbps～100.0 Mbps	^{HL316} 1 Gbps ^{HL308} ^{HL304} 100.0 Mbps	
		音声配信			^{HL316} ブラウザーより選択、1.CAM1～16.CAM16 ^{HL308} ブラウザーより選択、1.CAM1～8.CAM8 ^{HL304} ブラウザーより選択、1. CAM1～4. CAM4	ブラウザーより選択	
		データ伝送するためにSSLを適用			チェック 有/無	有	

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
ネットワーク	LAN	タイプ	手動設定、DHCP	手動設定		
		IPアドレス	(IPアドレス)	192.168.0.250		
		MACアドレス	-	(表示のみ)		
		ゲートウェイ	(ゲートウェイアドレス)	192.168.0.1		
		サブネットマスク	(サブネットマスクアドレス)	255.255.255.0		
		DNSサーバー	(DNSサーバーアドレス)	0.0.0.0		
		ポート番号設定	遠隔 管理	1 ~ 65535	8200	
			遠隔 監視	1024 ~ 65535	8016	
			遠隔 検索	1024 ~ 65535	10019	
		UPnP使用		チェック 有/無	無	
	テスト	ネットワークアドレス	(IPアドレス)	192.168.0.1		
		テスト回数	5 ~ 10	5		
	RTSP	RTSPを使用する		チェック 有/無	無	
		RTSPポート		1 ~ 65535	554	
RTSPポート（先頭）			1024 ~ 65535	16001		
RTSPポート（末尾）			1024 ~ 65535	17000		
狭帯域配信モード			チェック 有/無	無		
ブラウザ	ブラウザを使用する		チェック 有/無	無		
	ポート		1024 ~ 65535	12088		
通知	メール	グループ&受信先	(メール送信)	チェック 有/無	無	
			新しいグループ	(テキスト入力)	mail group_1	
			添付形式	なし、MP4、JPG	なし	
			受信先	使用：チェック 有/無	有	
				グループ：(テキスト入力)	default group	
		表示名：(テキスト入力)		空白		
		アドレス：(テキスト入力)	空白			
		添付形式	なし、MP4、JPG	なし		
		SMTP設定	SMTPサーバー	(テキスト入力)	空白	
			ポート	0 ~ 99999	25	
	SSL/TLS使用		チェック 有/無	無		
	認証設定		使用する：チェック 有/無	無		
			ユーザー：(テキスト入力)	空白		
	パスワード：(テキスト入力)	空白				
	送信元	表示名：(テキスト入力)	空白			
		アドレス：(テキスト入力)	空白			
	スケジュール	番号		1 ~ 20	1	
曜日			日、月、火、水、木、金、土、月~金、休日、全て	全て		
時間範囲			00:00 ~ 24:00	00:00 ~ 24:00		
通知		メール：チェック 有/無	有			
		サマリー：チェック 有/無	有			
サマリーメール間隔		しない、30分、1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間、9時間、12時間、18時間、1日	しない			

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	ボタン名称	設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
表示	OSD	状態	電子ズーム	チェック 有/無	有	
			ネットワーク	チェック 有/無	有	
			フリーズ&シーケンス	チェック 有/無	有	
			画面グループ	チェック 有/無	有	
			HDD残容量	チェック 有/無	有	
			日付	チェック 有/無	有	
			時間	チェック 有/無	有	
			情報バー	チェック 有/無	有	
		カメラ	番号	チェック 有/無	無	
			録画	チェック 有/無	有	
			PTZ	チェック 有/無	有	
			タイトル	チェック 有/無	有	
			音声	チェック 有/無	有	
	透過性		(スライドバー入力)		一番左：透過なし	
	OSD余白	水平	0～50	0		
		垂直	0～40	0		
	メインモニター	ⓂHL316 ⓂHL308 モード		全画面シーケンス、部分画面シーケンス	全画面シーケンス	
カメラ切替間隔		1秒、2秒、3秒、4秒、5秒、10秒、15秒、30秒、1分	3秒			
イベント連動表示		チェック 有/無	無			
解像度		1280×1024、1440×900、1920×1080、ⓂHL316 3840×2160	1920×1080 (ただし、接続モニターの解像度による)			
解像度手動設定		チェック 有/無	無			
画面に合わせる		チェック 有/無	有			
モニター解像度情報		HDMI	1280×1024 1440×900 1920×1080 ⓂHL316 3840×2160 ※未接続でグレーアウト	(表示のみ)		
		VGA	1280×1024 1440×900 1920×1080 ※未接続でグレーアウト	(表示のみ)		
スポットモニター ⓂHL316	番号		1	1		
	カメラ1～16	カメラ	一括設定：チェック 有/無 個別設定：チェック 有/無	無 有		
		時間	1秒～20秒	1秒		

エラーコード情報

システムアップグレード関連		クリップコピー関連	
番号	内容	番号	内容
0	不明なエラー	0	不明なエラー
1	ファイルバージョンのエラー	1	デバイスエラー
2	オペレーティングシステムバージョンのエラー	2	実装に失敗しました
3	ソフトウェアバージョンのエラー	3	メディアがありません
4	カーネルバージョンのエラー	4	無効なメディアです

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

システムアップグレード関連		クリップコピー関連	
100	アップグレードデバイスの実装に失敗しました。	5	ファイルが既に存在します。
101	パッケージが見つかりません。	6	容量が不足しています。
102	パッケージの抽出に失敗しました。	7	一時ファイルの作成に失敗しました。
103	LILOに障害があります。	8	ディスクのオープンに失敗しました。
104	再起動に失敗しました。	9	ディスクのフォーマットに失敗しました。
105	無効なパッケージです。	10	データベースが変更されています。
106	ODDファームウェアのアップグレードに失敗しました。	11	添付に失敗しました。
300	遠隔接続に障害があります。	12	セクター不良です。
301	遠隔ネットワークエラー。	13	実行可能なファイルではありません。
302	遠隔アップグレードが許可されていません。	14	実行可能ファイルを開くのに失敗しました。
303	遠隔パッケージの保存に失敗しました。	15	実行可能ファイルの書き込みに失敗しました。
304	ユーザーにより遠隔アップグレードがキャンセルされました。	16	画像の作成に失敗しました。
400	USBデバイスの実装に失敗しました。	17	書き込みに失敗しました。
401	USBデバイスのアップグレードパッケージの読み込みに失敗しました。	18	書き込みの時間切れです。
402	USBデバイスのアップグレードパッケージのコピーに失敗しました。	19	接続デバイスの障害です。
403	USBデバイスが接続されていません。	20	デバイスが使用中です。
404	USBデバイスが使用中です。	21	対応していないファイルシステムです。
405	対応していないファイルシステムです。	22	ベリファイに失敗しました。
500	システムがクリップコピー中です。		

システムログ情報

項目	出力タイミング
システム起動	起動したとき。
システム終了	システム画面で「システム終了」を選択したとき。
システム再起動	解像度の設定を変更して「システム再起動」を実行したとき。
アップグレード	ファームウェアをバージョンアップしたとき。
アップグレード失敗	バージョンアップに失敗したとき。
設定変更	設定を変更したとき。
時間変更	時間を変更したとき。
時間同期失敗：NTPサーバー	NTPサーバーとの同期に失敗したとき。
時刻同期成功：NTPサーバー	NTPサーバーとの同期に成功したとき。
ディスクエラー	HDDの異常を検知したとき。
ログイン	ログイン（オートログイン含む）したとき。
ログアウト	ログアウトしたとき。
設定開始	設定画面に入ったとき。
設定終了	設定画面から抜けたとき。
設定読み込み	USBメモリーから設定ファイルを読み込んだとき。
設定読み込み失敗	設定の読み込みが正常に完了しなかったとき。
設定保存	USBメモリーに設定ファイルを保存したとき。
設定保存失敗	設定の保存が正常に完了しなかったとき。
スケジュールオン	スケジュールオンのチェックを入れたとき。
スケジュールオフ	スケジュールオンのチェックを外したとき。
緊急録画開始	緊急録画を開始したとき。

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

項目	出カタイミング
緊急録画終了	緊急録画を終了したとき。
全てのデータ削除	設定メニューの「システム」-「基本」で「全てのデータ削除...」を実行したとき。
ディスク削除	設定メニューの「システム」-「HDD」-「情報」-「ディスクの情報」で「削除」ボタンを押したとき。
ディスク構成変更	ディスクを取り外したとき。
ディスクフル	ディスクの容量がフルになったとき。
ディスクフォーマット	設定メニューの「システム」-「HDD」-「フォーマット」で「フォーマット」ボタンを押したとき。
内蔵n：“シリアル番号”	ディスクを組み込んだとき。
内蔵n：“シリアル番号” 削除完了	ディスクを取り外したとき。
録画可能ディスクなし	録画可能ディスクがないとき。
自動消去	自動消去が動作したとき。
検索開始	検索モードに入ったとき。
検索終了	検索モードや再生のモードからライブ映像に戻ったとき。
クリップコピースタート（クリップコピー開始）	コピーがスタートしたとき（時刻を表示します）。
クリップコピー終了（クリップコピー終了）	コピーが終わったとき（時刻を表示します）。
バックアップ取消（クリップコピー取消）	コピーを取り消したとき。
バックアップ失敗（クリップコピー失敗）	コピーに失敗したとき。
クリップコピーユーザー	コピーを実行したとき（ユーザー名を表示します）。
クリップコピー映像再生時間	コピーしたとき（データの時間の長さを表示します）。
クリップコピーカメラ	コピーをしたとき（対象のカメラを表示します）。
ファクトリーリセット	工場初期化をしたとき。
ログイン5回失敗	ログインを5回連続で失敗したとき。

ライブ監視について

ライブ監視メニュー

- 起動後は、メインモニターにライブ画像を表示します。音声出力設定がONの場合はスピーカーへ音声出力します。
- 初期設定状態では、全カメラの映像を画面に表示します。前面パネルのカメラボタンを押す、または画面のカメラ画像を選択すると、該当するカメラの映像を全画面で表示します。
- 前面パネルの [設定] ボタンを押すと、画面の右側に「ライブ監視メニュー」が表示されます。[設定] ボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。
- 「ライブ監視メニュー」は、マウスカーソルを画面の右端に移動しても表示できます。



- ① ログイン/ログアウト
- ② モニター選択 (HL316)
- ③ 多画面選択
- ④ 画面送り(前)
- ⑤ 画面送り(次)
- ⑥ フリーズ
- ⑦ アラーム復帰
- ⑧ 緊急録画
- ⑨ シーケンス
- ⑩ カメラ設定
- ⑪ 検索
- ⑫ 設定
- ⑬ 状態
- ⑭ 情報バー

① ログイン/ログアウト

ログイン中は **⑩** が表示され、選択するとログアウト画面が表示されます。

ログアウト中は **①** が表示され、選択するとログイン画面が表示されます。

② モニター選択 (HL316)

メインモニターまたはスポットモニターを選択します。選択したモニターの設定ができます。

③ 多画面選択

メインモニターの画面レイアウトとOSDの表示/非表示を選択します。

全画面 / PIP (ピクチャーインピクチャー) / 2×2 / カメラOSD / 状態OSD /

HL316 HL308

1+5 / 1+7 / 3×3

HL316

4×4

メモ

- **⑩** (カメラOSD) と **⑬** (状態OSD) は選択するたびに表示/非表示が切り替わります。
- 多画面表示中に、前面パネルの [カメラ番号] ボタンを押すか、表示中のカメラ映像をマウスで左クリックすると、そのカメラの映像が全画面表示されます。
- 多画面表示中に、前面パネルの [多画面選択] ボタンを押すか、またはマウスのホイールをスクロールすると多画面表示のレイアウトが切り替わります。
- 1+5または1+7画面において、左上の大きい画面をメイン画面と呼びます。
- 1+5または1+7画面において、メイン画面以外のカメラ映像をマウスで選択し、右クリックで表示されるメニューの「メイン画面に移動」を選択すると、そのカメラ映像がメイン画面に表示されません。

④ 画面送り(前)

選択すると前の画面グループに移動します。

前面パネルの十字ボタンの「左」ボタンを押しても、前の画面グループに移動します。

ライブ監視について（つづき）

⑤画面送り（次）

選択すると次の画面グループに移動します。

前面パネルの十字ボタンの「右」ボタンを押しても、次の画面グループに移動します。

⑥フリーズ

選択すると、画面の映像が停止され、静止画面を表示するフリーズモードになります。再度選択すると、停止が解除されます。

HL316

前面パネルの「フリーズ」ボタンを押しても静止画面を表示します。

HL308 HL304

前面パネルの (再生/一時停止) ボタンを押しても静止画面を表示します。

メモ

- [表示] - [OSD] で [フリーズ&シーケンス] にチェックが入っている場合、フリーズ状態のとき、左下に アイコンが表示されます。

⑦アラーム復帰

アラーム中に選択すると、アラーム動作（アラーム出力とブザー鳴動）を解除します。

前面パネルの「アラーム」ボタンを押しても同じです。

⑧緊急録画

選択すると、すべてのカメラの緊急録画を開始します。再度選択すると、緊急録画を停止します。

前面パネルの「緊急録画」ボタンを押しても同じです。

⑨シーケンス

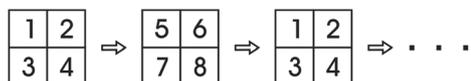
選択すると、シーケンスモードになりカメラ映像を順番に表示します。

前面パネルの「シーケンス」ボタンを押しても同じです。

HL316 HL308

多画面表示で「シーケンス」を選択すると、あらかじめ設定した画面シーケンス（全画面シーケンス、部分画面シーケンス）でシーケンス表示します。

(HL308での例) 2×2 画面で「シーケンス」を選択すると、次のように画面が切り換わります。



全画面シーケンス



部分シーケンス（右下だけ画面が切り換わります）

再度「シーケンス」を選択すると、シーケンスモードを終了します。

メモ

- シーケンスモード時の「全画面シーケンス」あるいは「部分画面シーケンス」は、[表示] - [メインモニター] - [モード] で予め設定しておきます。
- [表示] - [OSD] で [フリーズ&シーケンス] にチェックが入っている場合、左下に アイコンが表示されます。
- 画面内の全カメラがオフの場合、カメラがビデオオスの場合、またはカメラが非表示に設定されている場合でログイン中のユーザーが非表示のカメラを表示する権限を持たないとき、そのカメラはシーケンスから除外されます。

⑩カメラ設定

「カメラ設定」を選択すると、以下のサブメニューリストが表示されます。

[PTZ]

選択するとカメラ番号リストが表示されます。リストからカメラ番号を選択すると、「PTZモード」になり、パン、チルト、ズームを操作できます。

前面パネルの「PTZ」ボタンを押しても同じです。

詳しくは「PTZモード」(68ページ)を参照してください。

[電子ズーム]

選択するとカメラ番号リストが表示されます。リストからカメラ番号を選択すると、拡大表示します。再度選択すると拡大表示を終了します。

詳しくは「電子ズームモード」(69ページ)を参照してください。

HL316

前面パネルの「電子ズーム」ボタンを押しても同じです。

[音声]

選択すると、音声出力のオンとオフを切り換えます。

[色調整]

選択するとカメラ番号リストが表示されます。リストからカメラ番号を選択すると、色調整画面が表示され、カメラの輝度、コントラスト、色相および彩度を調整できます。

ライブ監視について（つづき）

HL308 HL304

前面パネルの[カメラ] ボタンを3秒以上押し続けても同じです。

メモ

- 変更した設定は録画している映像にも映されます。

[カメラメニュー]

選択すると、カメラリストが表示され、該当のカメラを選択すると[カメラ操作] 画面が表示されます。

メモ

- 本機能は弊社HDアナログカメラを接続して、HDとして設定している場合に有効になります。SDとして設定した場合には動作しません。



[PTZパネル] の各ボタンには次の機能があります。

- カメラメニューの表示、項目の決定
- カーソル（黄色）移動
- 項目の切り換え
- [カメラ操作画面] の終了

メモ

- を押し続けると、カメラの上下左右ボタンの長押しと同じ操作になります。
- を押ししてもカメラのメニューは閉じません。カメラのメニューを閉じるには、カーソルを[EXIT] に移動させ、 を押します。

[多画面編集]

多画面表示中に選択すると左上のカメラ映像に黄色の枠が表示され、カメラ番号リストが表示されます。リストからカメラ番号を選択すると、「多画面編集モード」になり、多画面上のカメラ位置の入れ換えができます。詳しくは「多画面編集モード」(☞70ページ)を参照してください。

⑪検索

[検索] を選択すると、以下のサブメニューリストが表示されます。

[全てのカメラ]

選択すると、ライブ監視モードを終了して、検索モードになります。前面パネルの[再生] ボタンを押しても同じです。

詳しくは「検索について」(☞76ページ)を参照してください。

[トリプレックス]

選択すると、カメラ番号リストが表示されます。リストからカメラを選択すると、「トリプレックスモード」になり、選択したカメラの再生映像と他のカメラのライブ映像が同時に表示されます。

⑫設定

選択すると、設定メニュー画面が表示され、各設定ができます。詳しくは「本体設定について」(☞9ページ)を参照してください。

⑬状態

選択すると、イベントの状態、ディスクの状態を確認できます。詳しくは「ステータス監視」(☞72ページ)を参照してください。

⑭情報バー

[日付/時間]

ライブ映像を表示しているときは、現在の日付時刻が表示されます。再生映像を表示しているときは、再生映像の日付時刻が表示されます。

[HDD残容量]

上書きモードのときに アイコンが表示され、上書きモードでないときに残容量がパーセント表示されます。

[画面グループ]

多画面表示のとき、下記の多画面表示以外のとき、画面グループの番号が表示されます。

- ・ HL316 : 4×4
- ・ HL308 : 3×3、1+7
- ・ HL304 : 2×2

[フリーズ&シーケンス]

フリーズモードのときに アイコンが表示され、シーケンスモードのときに アイコンが表示されます。

[ネットワーク]

イーサネット経由でネットワークに接続したときに、 アイコンが表示されます。

ライブ監視について（つづき）

PTZモード

「PTZ制御」権限のあるユーザーはパン、チルト、ズーム機能を持つPTZカメラを操作できます。

PTZモードの入り方

ライブ監視モードのとき、以下の2通りの方法でPTZカメラリストが表示されます。カメラを選択するとPTZモードに入ります。

- 前面パネルの [PTZ] ボタンを押す。
- マウスカーソルを右端に移動して、表示されるライブ監視メニューの [カメラ設定] から [PTZ] を選択する。

また、以下の場合には直接PTZモードに入ります。

- カメラ映像をマウスで選択し右クリックし、表示されたメニューリストから「PTZ」を選択します。

PTZモードに入ると、PTZカメラの画面の **P** アイコンが点滅します。

PTZモードの終了のしかた

もう一度 [PTZ] ボタンを押すか、またはマウスカーソルを画面の右端に移動して表示されるPTZメニューから **終了** (終了) を選択すると、PTZモードを終了します。

PTZの操作方法（前面パネル）

十字ボタン

左右：パン

上下：チルト

カメラボタン

ボタン [1 (ズーム [-])]：ズーム広角

ボタン [2 (ズーム [+])]：ズーム望遠

ボタン [4 (フォーカス)]：フォーカス近

ボタン [5 (フォーカス)]：フォーカス遠

ボタン [7 (プリセット移動)]：

「プリセット移動」画面を表示します。(☞本ページ)

ボタン [8 (プリセット登録)]：

「プリセット登録」画面を表示します。

(☞69ページ)

PTZの操作方法（マウス）

画面上でマウスを左クリックし、カメラ動かしたい方向にマウスをドラッグします。マウスのホイールで拡大縮小ができます。

PTZの操作方法（PTZパネル）

マウスカーソルを画面下に移動すると、[PTZパネル]が表示されます。



[PTZパネル]の左側のボタンが無いエリアをクリックしながら移動させマウスボタンをはなす（ドラッグ&ドロップ）と、[PTZパネル]の表示位置を変更できます。[PTZパネル]を終了するには、**X** ボタンを選択します。[PTZパネル]の各ボタンには次の機能があります。

各向きにカメラを移動

ズーム望遠／ズーム広角

フォーカス近／フォーカス遠

アイリスOPEN／アイリスCLOSE

プリセット登録／プリセット移動

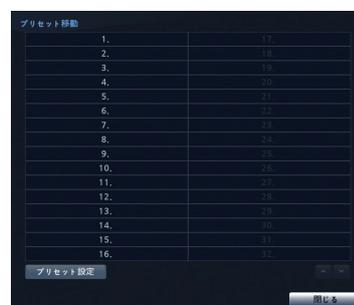
● PTZ操作には使用しません。カメラのオンスクリーンメニューの項目決定に使用します。

メモ

- パン／チルトの速度は、マウスで変更できます。画面上でマウスを左クリックし、動かしたい方向にマウスをドラッグすると、ドラッグした距離に応じた速度が表示され、選択することができます。

■プリセット移動

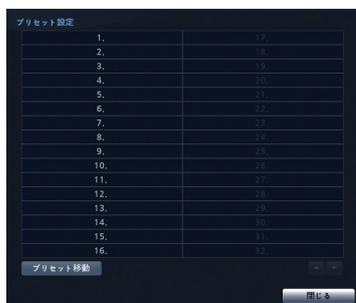
プリセット移動ボタンを押すと、プリセット移動画面が表示されます。プリセット位置を選択すると、登録してあるプリセット位置へカメラの向きを動かします。



ライブ監視について（つづき）

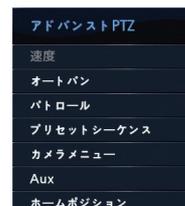
■プリセット登録

カメラの向きを合わせた後、[プリセット登録] ボタンを押すと、[プリセット設定] 画面が表示されます。設定したい番号を選択して設定します。ソフトキーボードを使って設定名を変更できます。



■アドバンスPTZメニュー

PTZモードで、前面パネルの[設定] ボタンを押し、画面の右側に表示されるメニューから (アドバンスPTZ) を選ぶと、アドバンスPTZメニューを表示します。メニューから実行したい機能を選択します。機能についてはカメラの取扱説明書をご参照ください。カメラによっては、対応していない機能があり、グレー表示されます。



メモ

- カメラメニューのカーソル移動は、PTZパネルの上下左右のボタンを使用します。項目決定は ボタンを押します。

電子ズームモード

電子ズームモードの入り方

マウスカーソルを右端に移動して表示されるライブ監視メニューの[カメラ設定] から[電子ズーム] を選択し、カメラを選択すると、電子ズームモードに入り、カメラ映像が拡大表示され、長方形の枠が表示されます。

以下の方法でも電子ズームモードに入ることができます。

ライブ監視モードのとき、前面パネルの[電子ズーム] ボタンを押すと、電子ズームモードに入り、カメラ映像が拡大表示され、長方形の枠が表示されます。

電子ズームの位置の決定の仕方

この枠は前面パネルの十字ボタンで移動させるか、または、マウスカーソルで移動させます。

この枠は操作せずにいると自動で消えます。この枠を再度表示したい場合は、画面をマウスでクリックします。

電子ズームの倍率の選び方

電子ズームモードのとき、マウスカーソルを右端に移動して表示される電子ズームメニューから[電子ズーム] アイコンを選択すると倍率が表示され、希望の倍率を選択します。

電子ズームモードの終了の仕方

[電子ズーム] ボタンを再度押すと、電子ズームモードが終了します。

または、電子ズームメニューの[終了] を選択すると電子ズームモードが終了します。

メモ

- 4K出力時に電子ズームできない場合があります。また、再生映像の解像度によって、ズーム倍率に差があります。詳細は下記の表を参照してください。

モニター出力、解像度の設定とズーム倍率

解像度	モニター出力	1920×1080 1440×900 1280×1024	3840×2160
	最高 [FHD (FRAME)]		×2～×12 (×2～×5)
高解像度 [HD (FIELD)]		×2～×10 (×2～×3)	×2～×5 (不可)
標準 [FRAME (CIF)]		×2～×5 (×2)	×2 (不可)

() 内はSDアナログカメラ

ライブ監視について（つづき）

多画面編集モード

多画面編集モードの入り方

ライブ監視モードで多画面表示中に、マウスカーソルを右端に移動して表示されるライブ監視メニューの[カメラ設定]から[多画面編集]を選択すると、カメラ映像に黄色の枠が表示され、多画面編集モードになります。

または、カメラ映像をマウスで選択し右クリックすると、カメラ設定メニューが表示され、[多画面編集]を選択すると、カメラ映像に黄色の枠が表示され、多画面編集モードになります。

黄色の枠は選択位置を示し、前面パネルの十字ボタン、またはマウスで移動させることができます。

枠を移動した後、前面パネルの[カメラ]ボタンでカメラ選択するとそのカメラ映像が枠の位置に表示されます。または、マウスの右クリック操作で表示される「カメラ」リストからカメラを選択することもできます。

多画面編集モードの終了の仕方

前面パネルの  ボタンを押すと、多画面編集モードを終了します。

または、前面パネルの[メニュー]ボタンを押したとき、あるいはマウスの右クリック操作で表示される「多画面編集終了」を選択しても、多画面編集モードを終了します。または、15秒間何も操作しないと、多画面編集モードは終了します。

イベント監視

[表示] - [メインモニター] で [イベント連動表示] にチェックを入れておくと、イベント発生時に、該当カメラの映像に切り換え  アイコンを表示します。

[イベント連動表示] にチェックを入れている場合、イベントに関連したカメラの台数によって画面表示の方法が変わります。1台のみの場合は全画面、2～4台では2×2画面、5～9台では1+5、1+7または3×3画面、10台以上は4×4画面表示になります。

イベント録画時間で設定した時間、イベント連動表示を行います。設定時間が過ぎると、前の画面表示に戻ります。前面パネルの[多画面選択]ボタン、または[カメラ]ボタンを押すとライブ監視モードになります。

非表示カメラ

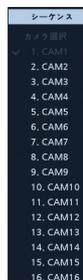
[カメラ設定] - [基本] でカメラの[表示モード]を「非表示1」に設定すると、「非表示カメラの表示」権限のあるユーザーがログインしていない場合、該当カメラの映像は表示されません。カメラタイトルと状態アイコンは表示されます。

[カメラ設定] - [基本] でカメラの[表示モード]を「非表示2」に設定すると、「非表示カメラの表示」権限のあるユーザーがログインしていない場合、該当カメラの映像は表示されません。カメラタイトルはグレーで表示され、状態アイコンも表示されません。カメラ番号のみ表示されます。

ライブ監視について（つづき）

スポット監視 (HL316)

スポットモニターに表示したいカメラを選択します。



前面パネルの「多画面選択」ボタンを3秒以上押し続けると、シーケンス／カメラ選択リストが表示されます。リストから選択したカメラがスポットモニターに表示されます。

リストから「シーケンス」を選ぶと、シーケンスが実行されカメラの映像が切り換わります。「シーケンス」をもう一度選ぶと、シーケンスを停止します。

メモ

- オフ状態のカメラ、「ビデオロス」のカメラ、または「非表示」に設定されたカメラは、シーケンスされません。（非表示カメラの表示権限のあるユーザー以外）
- シーケンスモードで映像が切り換わる時間は、[表示] - [スポットモニター] の [スポットモニター1：チャンネル] - [時間] で設定します。（☞49ページ）
- 映像が切り換わる時、わずかに映像が一時停止します。

ライブ監視メニューの「モニター選択」で「スポットモニター」を選ぶと、スポットモニターモードに入り、スポットモニターメニューが表示され、スポットモニターを操作できるようになります。

スポットモニターメニュー

①多画面選択

スポットモニターの画面レイアウトとOSDの表示／非表示を選択します。

全画面 / 2×2 / 1+5 / 1+7 / 3×3 / 4×4 /

 (OSD)

情報 (OSD) 表示

画面のカメラ映像上でマウスを右クリックし、表示されるメニューから「情報 (OSD) 表示」を選択すると、画面上にカメラ (ライブ映像) および録画に関する、画質、解像度、フレームレートが表示されます。

情報を消すには再度「情報 (OSD) 情報」を選択します。

メモ

-  (OSD) は選択するたびに表示／非表示が切り換わります。

②画面送り (前)

選択すると、前の画面に移動します。

③画面送り (次)

選択すると、次の画面に移動します。

④アラーム復帰

アラーム中に「アラーム復帰」を選択すると、内蔵ブザーを含めたアラームが止まります。

⑤緊急録画

選択すると、すべてのカメラの緊急録画を開始します。再度選択すると、緊急録画が停止します。

⑥シーケンス

選択すると、シーケンスモードになりカメラ映像を順番に表示します。再度選択すると、シーケンスが停止します。

⑦カメラ設定

[カメラ設定] - [スポットモニター] の順に選択すると、スポットモニターに表示したいカメラを選択でき、[カメラ設定] - [多画面編集] の順に選択すると、多画面編集モードに入ります。設定方法は「多画面編集モード」(☞70ページ) を参照してください。

メモ

- メインモニターとスポットモニターが同じ画面レイアウトの場合、カメラ選択は両方のモニターに反映されます。どちらか片方のモニターに異なるカメラを選択することはできません。

●終了

選択すると、スポットモニターモードを終了し、メインモニターモードに戻ります。

ライブ監視について（つづき）

ステータス監視

ライブ監視メニュー（☞65ページ）または検索メニュー（☞76ページ）で （状態）を選択すると、「イベント状態」画面が表示されます。



■ [イベント状態]

イベントの状態を確認します。イベントが発生したところは強調表示され、イベント発生後5秒間点滅します。

（アラーム入力）、（VMD（動き））、（ビデオロス）、（映像遮断）は、イベントの各設定に基づき、イベント発生時に強調表示されます。

（アラーム入力確認）は、[システム] - [システムイベント] の設定に基づき、イベント発生時に強調表示されます。

[緊急録画]

緊急録画時に強調表示されます。

[ディスクフル警告]

上書きモードに設定されていないとき、[システム] - [システムイベント] の [ディスクフル警告] で設定したディスク使用量に達すると強調表示されます。

[録画状態確認]

[システム] - [システムイベント] - [録画状態確認] の設定に基づき、イベント発生時に強調表示されます。

[ディスクフル]

上書きモードに設定されていないとき、HDD残容量がなくなると強調表示されます。

[ファンエラー]

本機の放熱ファンが4秒以上動作しないときに強調表示されます。

[ディスク構成変更]

本機の起動時にハードディスクが交換されていること、取り外されたこと、および追加されたことを検知したとき強調表示されます。

■ [ディスク]

選択すると、ハードディスクの状態を示す [ディスク] 画面が表示されます。



[タイプ]

ディスクのタイプが表示されます。

[ディスクエラー]

不良セクターの割合が表示されます。

「未フォーマット」は、ディスクがフォーマットされていないことを示します。

[温度]

ディスクの温度を表示します。

[S.M.A.R.T.]

「良好」、「不良」または「N/A」を表示します。

良好：ディスクの状態は正常です。

不良：ディスクにデータを書き込めないか、または読み出せません。

N/A：ディスクの状態は正常ですが、S.M.A.R.T.が動作していないか、または対応していません。

メモ

- 「不良」メッセージが表示された場合は、速やかにハードディスクを交換してください。
- 内蔵のハードディスクがSMART（自己診断機能）に対応している場合のみ、「温度」と「S.M.A.R.T.」情報が表示されます。

録画と録音について

録画

電源を入れると、[録画] 設定画面での設定に基づき、録画を開始します。

工場出荷時設定では、設定メニューの [録画] - [基本] の [上書] にチェックが入っていますのでディスクの残容量が無くなると、最も古い映像に上書きして録画を継続します。[上書] のチェックを外すと、ディスク残容量が無くなると録画を停止します。

録画機能を活用したい場合は、設定メニューの [録画] 設定画面で、設定を変更してください。(☞25ページ)

緊急録画

ライブ監視メニューあるいは検索メニューの **!** (緊急録画) を選択するか、または前面パネルの [緊急録画] ボタンを押すと、全カメラで緊急録画を開始します。再度 **!** (緊急録画) を選択するか、前面パネルの [緊急録画] ボタンを押すと、緊急録画を停止します。[録画] - [基本] で緊急録画時間を設定していると、設定時間経過後、自動的に停止します。

重要

- 上書録画を設定していない場合、ディスクの残容量がなくなると緊急録画されません。

メモ

- 緊急録画は録画スケジュールに関わらず実行されます。
- 緊急録画でディスクを消費させたくない場合は、[録画] - [基本] の [緊急録画を使用する] からチェックを外してください。

録音

[録画] - [基本] の [録音] にチェックが入っている場合、録画時に最大4台のカメラの音声も録音します。

再生について

「検索」権限のあるユーザーは、前面パネルの操作やマウス操作で、録画された画像を再生できます。

メモ

- 初めて映像を再生するとき、最新の画像を表示します。その後に映像を再生したときは、最後に再生した画像から再生を開始します。全画面モードで再生すると録音された音声も再生されます。
- 非表示カメラの映像は、管理者、および「非表示設定中のカメラを表示」権限を持つユーザーのみが見ることができます。再生中の非表示カメラは、現在のカメラ設定に依存します。

【前面パネルからの操作】

【再生】ボタン

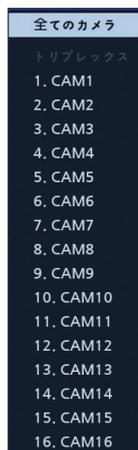
ボタンを押すと、再生モードになり、もう一度押すと、再生モードを終了します。

■ 1画面表示のとき

【再生】ボタンを押すと一時停止状態になり、【再生/一時停止】ボタンを押すと再生が開始されます。

■ 多画面表示のとき

【再生】ボタンを押すと「再生カメラリスト」が表示されます。



「全てのカメラ」を選択すると、全カメラの映像を再生します。PIP画面表示を除き、ライブ監視中と同じ画面表示になります。ライブ監視中と同様、画面レイアウトを変更できます。

「トリプレックス」の下にあるカメラ番号を選択すると、トリプレックスモードになり、選択したカメラ（赤い枠）のみの再生になります。選択したカメラ以外はライブ映像が表示されません。

【カメラ】ボタン：選択されたカメラが全画面で表示されます。

【十字】ボタン：[◀◀] ボタンを押すと、高速で巻き戻し再生します。ボタンをもう一度押すと、再生速度が「◀◀」、「◀◀◀」、「◀◀◀◀」、「×16」、「×32」、「×64」、「×128」、「×256」と切り換わります。[▶▶] ボタンを押すと、高速で早送り再生します。ボタンをもう一度押すと、再生速度が「▶▶」、「▶▶▶」、「▶▶▶▶」、「×16」、「×32」、「×64」、「×128」、「×256」と切り換わります。一時停止中に、[▶] ボタンを押すと、次の画像に移動し、[◀] ボタンを押すと、前の画像に移動します。

メモ

- 速度表示は段階的に変化することを意味しており、速度数値は目安です。
- 同じ速度表示でも、多画面表示の画面数などにより、再生速度は異なります。

【再生/一時停止】ボタン：⏸ ボタンを押すと、通常速度で画像を再生するか、または再生を一時停止します。

【電子ズーム】ボタン：HL316

ボタンを押すと画面の画像を拡大します。

【多画面選択】ボタン：ボタンを押すと、画面表示フォーマットを切り換えます。

2×2、HL316 HL308

1+5 / 1+7 / 3×3、HL316 4×4から選択できます。

【マウスでの操作】

■ 1画面表示のとき

ライブ監視メニューの「検索」→「全てのカメラ」を選択すると再生が開始されます。

■ 多画面表示のとき

ライブ監視メニューの「検索」を選択すると、「全てのカメラ」と「トリプレックス」のメニューが表示されます。

「全てのカメラ」を選択すると、全カメラの映像を再生します。PIP画面表示を除き、ライブ監視中と同じ画面表示になります。ライブ監視中と同様、画面レイアウトを変更できます。

再生について（つづき）

「トリプレックス」を選択すると、カメラリストが表示され、選択したカメラ（赤い枠）のみの再生になります。選択したカメラ以外はライブ映像が表示されます。

■ マウス操作

マウスのポインターを画面の下側に移動すると、次の[再生バー（録画テーブル検索画面のコンパクト表示と同じ）]が表示されます。再生に使用する各ボタンには以下の機能があります。

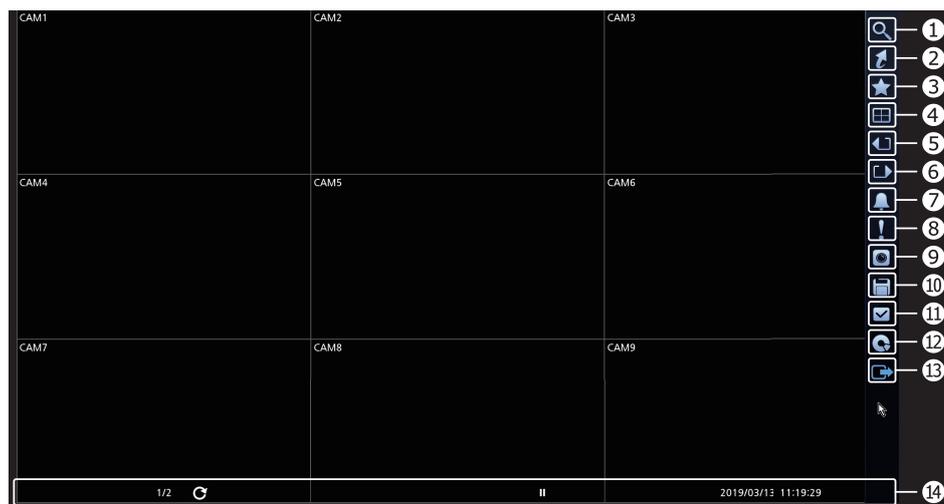


- ◀ 前の画面に戻る
- ▶ 再生
- ⏸ 一時停止
- ▶ 次の画面に進む
- ⏮ 早戻し再生
- ⏭ 早送り再生

検索について

検索メニュー

- ライブ監視メニューで [検索] を選択すると、検索モードになります。
- 検索モードで前面パネルの [設定] ボタンを押すと、画面の右側に「検索メニュー」が表示されます。[設定] ボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。
- 「検索メニュー」は、マウスカーソルを画面の右端に移動しても表示できます。
- 録画テーブル検索など多画表示状態で検索をしたとき、まれに「イメージが探せません」とメッセージが表示されることがあります。この場合でも再生ボタンを押下すると映像を確認することができます。



- ① 検索
- ② 時間指定検索
- ③ ブックマーク
- ④ 多画面選択
- ⑤ 画面送り (前)
- ⑥ 画面送り (次)
- ⑦ アラーム復帰
- ⑧ 緊急録画
- ⑨ カメラ設定
- ⑩ 保存
- ⑪ 状態
- ⑫ メディア選択
- ⑬ 終了
- ⑭ 情報バー

① 検索

選択すると、以下のサブメニューが表示されます。

【イベントログ検索】

🔍 (検索) → [イベントログ検索] の順に選択し、イベントログから映像を検索します。詳しくは「イベントログ検索」(☞78ページ) を参照してください。

【録画テーブル検索】

🔍 (検索) → [録画テーブル検索] の順に選択し、録画テーブルから映像を検索します。詳しくは「録画テーブル検索」(☞80ページ) を参照してください。

【動き検索】

🔍 (検索) → [動き検索] の順に選択し、動き自動検出の結果から映像を検索します。詳しくは「動き検索」(☞82ページ) を参照してください。

【サムネイル検索】

🔍 (検索) → [サムネイル検索] の順に選択し、サムネイルから映像を検索します。詳しくは「サムネイル検索」(☞83ページ) を参照してください。

② 時間指定検索

選択すると、以下のサブメニューが表示されます。

【最古画像】

🕒 (時間指定検索) → [最古画像] の順に選択すると、保存されている録画データのうち、最も古い画像を表示します。

【最新画像】

🕒 (時間指定検索) → [最新画像] の順に選択すると、保存されている録画データのうち、最も古い画像を表示します。

【日時指定検索】

🕒 (時間指定検索) → [日時指定検索] の順に選択すると [日時指定検索] 画面が表示されます。



日時ボックスを選択して、左右ボタンまたはマウスカーソルで年、月、日、時、分、秒の強調表示を移動し、上下ボタンまたはボックスの▲▼ボタンで検索したい日付と時刻を変更します。

日付と時刻を設定後、[決定] ボタンを押すと、設定した日時の映像が表示されます。(その時刻に録画された映像がない場合は、エラーメッセージが表示されます。)

検索について（つづき）

③ブックマーク

選択すると、現在の再生ポイントをブックマークリストに追加します。詳しくは「ブックマーク」（☞84 ページ）を参照してください。

④多画面選択

メインモニターの画面レイアウトとOSDの表示／非表示を選択します。

全画面／PIP／2×2／カメラOSD／状態OSD

HL316

HL308

1+5／1+7／3×3

HL316

4×4

メモ

- （カメラOSD）と （状態OSD）は選択するたびに表示／非表示が切り換わります。
- 多画面表示中に、前面パネルの「カメラ番号」ボタンを押すか、表示中のカメラ映像をマウスで左クリックすると、そのカメラの映像が全画面表示されます。
- 多画面表示中に、前面パネルの「多画面選択」ボタンを押すか、またはマウスのホイールをスクロールすると多画面表示のレイアウトが切り換わります。

⑤画面送り（前）

選択すると前の画面グループに移動します。

⑥画面送り（次）

選択すると次の画面グループに移動します。

⑦アラーム復帰

アラーム中に選択すると、アラーム動作（アラーム出力とブザー鳴動）を解除します。前面パネルの「アラーム」ボタンを押しても同じです。

⑧緊急録画

選択すると、すべてのカメラの緊急録画を開始します。再度選択すると、緊急録画が停止します。前面パネルの「緊急録画」ボタンを押しても同じです。

⑨カメラ設定

選択すると、以下のサブメニューリストが表示されます。

【電子ズーム】

選択するとカメラ番号リストが表示されます。リストからカメラ番号を選択すると、電子ズームモードに入り、拡大表示します。電子ズームモード画面の右側に表示される「終了」ボタンを選択すると拡大表示を終了します。詳しくは「電子ズームモード」（☞69ページ）を参照してください。

HL316

前面パネルの「電子ズーム」ボタンを押しても電子ズームモードへ入り、再度押すと終了します。

【音声】

選択すると、音声出力のオンとオフを切り換えます。

【多画面編集】

選択すると「多画面編集モード」になり、多画面上のカメラ位置の入れ換えができます。詳しくは「多画面編集モード」（☞70ページ）を参照してください。

メモ

- カメラ設定は、検索モードの画面でマウスを右クリックしても表示できます。

⑩保存

選択すると、以下のサブメニューリストが表示されます。

【A-Bクリップコピー】

選択すると、クリップコピーする映像の開始地点が設定され、画面の左下にアイコンが表示されます。[A-B クリップコピー] をもう一度選択すると、終了地点が設定され、クリップコピー画面が表示されます。詳しくは「クリップコピー」（☞85ページ）をご参照ください。

【クリップコピー】

選択すると、クリップコピー画面が表示され、クリップコピーができます。詳しくは「クリップコピー」（☞85ページ）を参照してください。

⑪状態

選択すると、イベントの状態、設定およびディスクの状態を確認できます。詳しくは、「ステータス監視」（☞72ページ）を参照してください。

⑫メディア選択

選択すると、「録画」にチェックが入っており、プライマリディスクに記録された録画データを検索します。

⑬終了

選択すると、検索モードからライブ監視モードに戻ります。

⑭情報バー

【日付/時間】

再生映像の日付時刻が表示されます。

【再生状態】

▶（再生中アイコン）再生中を表示します。

||（一時停止アイコン）一時停止中を表示します。早送りアイコン、早戻しアイコンについては「十字ボタン」の説明を参照してください。（☞74ページ）

【HDD残容量】

上書きモードのときに アイコンが表示され、上書きモードでないときに残容量がパーセント表示されます。

検索について（つづき）

イベントログ検索

本機はイベントが発生するたびに、イベントログを記録しています。

検索メニューの[検索]—[イベントログ検索]を選択すると[イベントログ検索]画面が表示されます。[イベントログ検索]画面では日時順にイベントリストを表示します。



【前面パネルからの操作】

十字ボタンで再生したいイベントの[時間]を選択し、[再生/一時停止]ボタンを押すと、イベントの最初の画像を表示します。

[再生/一時停止]ボタンを押すと、再生が開始されます。

[再生]ボタンを押すと、ライブ監視に戻ります。

【マウスでの操作】

マウスで再生したいイベントの[時間]を選択すると、イベントの最初の画像を表示します。

マウスカーソルを画面の下に移動して表示される

[録画テーブル検索]画面の[再生/一時停止]を選択すると、再生が開始されます。

メモ

- アラームが発生していない場合は、[アラーム]ボタンでもイベントログ検索画面を表示します。
- イベントログ検索画面はどのユーザーでも表示できますが、「検索」権限のあるユーザーのみ、イベント録画映像を検索して再生できます。
- 表示中の画面に録画映像がない場合は、[多画面選択]ボタンで、表示可能な最大の多画面表示に切り換えると、映像を確認しやすくなります。
- 設定した条件により、イベントログの検索に時間がかかることがあります。
- イベントログのリストはリアルタイム更新ではありません。

【時間】

イベントの発生した日付時間が表示されます。

【タイプ】

イベントの種類が表示されます。

(☞28ページ)

【タイトル】

カメラタイトルが表示されます。アラーム入力の場合は、入力端子に設定した名前が表示されます。

【条件...】ボタン

選択すると、[イベントログ検索条件]画面が表示され、細かい検索条件を設定し、イベント検索の範囲を絞ることができます。

【▲】[▼] (スクロール) ボタン

ログリストのページを切り換えます。

■ [イベントログ検索条件] 画面



すべての画像から検索するか、または開始日時、終了日時などを指定して検索することができます。

【開始】

[最初から]のチェックを外すと、日付と時刻を入力できます。[最初から]にチェックを入れると、すべての録画の始端日時を検索開始日時に設定します。★を選択すると、ブックマークリストが表示され、選択したブックマークの日時を検索開始日時に設定します。

検索について（つづき）

【終了】

【最後まで】のチェックを外すと、日付と時刻を入力できます。【最後まで】にチェックを入れると、すべての録画の終端日時を検索終了日時に設定します。★を選択すると、ブックマークリストが表示され、選択したブックマークの日時を検索終了日時に設定します。

【時間重複検査】

【開始】あるいは【終了】に日時が設定されている場合、【時間重複検査】のチェック有り／無しが設定できます。【時間重複検査】にチェックを入れると、日時設定が変更されて重複した録画データが存在する場合、検索範囲の選択ウィンドウが表示されます。チェックを外すと、全ての録画データの検索結果を表示します。

【アラーム入力】

選択すると、【アラーム入力】画面が表示されます。検索対象とするアラーム入力番号にチェックを入れます。

【動き検出】

選択すると、【動き検出】画面が表示されます。検索対象とするカメラ番号にチェックを入れます。

【ビデオロス】

選択すると、【ビデオロス】画面が開きます。検索対象とするカメラ番号にチェックを入れます。

【映像遮断】

選択すると、【映像遮断】画面が開きます。検索対象とするカメラ番号にチェックを入れます。

【カメラ】

選択すると、【カメラ】画面が開きます。検索対象とするカメラ番号にチェックを入れます。カメラを選択していない場合、連動録画カメラ以外のイベントを検索します。

【システムイベント】

チェックを入れると、以下のシステムイベントをすべて検索します。チェックを外すとすべてのシステムイベントを検索対象から外します。

各システムイベントは個々にチェック有り／無しを設定できます。

- 緊急録画
- 録画状態確認
- アラーム入力確認
- ディスクフル警告
- ディスクエラー
- ディスク温度
- ディスクS.M.A.R.T.
- ディスク構成変更
- ファンエラー
- ログイン5回失敗

【決定】

検索条件を設定した後、ボタンを押すと、イベントログ画面に検索結果が表示されます。

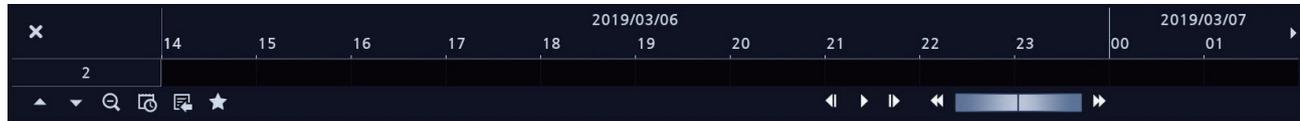
【キャンセル】

ボタンを押すと「イベントログ検索条件」画面を終了します。

検索について（つづき）

録画テーブル検索

検索メニューの [検索] - [録画テーブル検索] を選択すると「録画テーブル」画面が表示されます。



録画テーブル 標準表示

現在表示中の録画映像の情報が録画テーブル上に表示されます。グレーの縦線は、現在の再生位置を示します。映像を検索するには、前面パネルの左右ボタンまたはマウスをクリックして、再生位置を変更します。本機の日付／時刻を録画映像よりも前の時間にリセットしたことにより、同じ時間帯に複数の映像が存在する場合は、黄色い縦線で重複した時間帯を分けて表示します。

メモ

- 黄色い縦線より後の録画データが最新のものです。

「録画テーブル」画面は「標準表示」、「拡大表示」および「コンパクト表示」の3つの表示モードがあります。標準表示（初期設定）は、表示中の全カメラの録画情報を表示します。標準表示の▲アイコンを選択すると拡大表示に切り換わりします。拡大表示では、表示中のカメラごとの録画情報を表示します。標準表示の▼アイコンを選択すると、コンパクト表示に切り換わりします。コンパクト表示の▲アイコンおよび拡大表示の▼アイコン選択で標準表示に戻ります。



録画テーブル コンパクト表示



録画テーブル 拡大表示

検索について（つづき）

[Q]

選択すると1分単位で8時間分（解像度が1920×1080では12時間分）の録画情報を表示します。

[Q]

選択すると3分単位で24時間分（解像度が1920×1080では36時間分）を一度に表示します。

メモ

- 同時間帯に複数の録画モードでの録画があると、緊急録画（赤色バー）→イベント（黄色バー）→イベント（紫色バー）→スケジュール（青色バー）の順で、録画ステータスバーに録画情報を表示します。

[📅]

選択すると、「カレンダー検索」画面（📄本ページ）を表示します。

[🔍]

選択すると、「検索メニュー」（📄本ページ）を表示します。

[★]

選択すると、「ブックマーク」画面（📄84ページ）が表示されます。

[X]

選択すると、「録画テーブル検索」画面が終了します。

[◀、▶、⏮、⏭、⏪、⏩]

◀ 前の画像に戻る

▶ 再生

⏮ 一時停止

⏭ 次の画像に進む

⏪ 早戻し再生

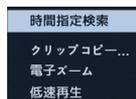
⏩ 早送り再生

■ カレンダー検索



録画映像がある日付は、強調表示されます。十字ボタンでカーソルを移動させ [再生/一時停止] ボタンを押して選択するか、マウスで直接選択します。選択した日付の最初の録画画像が静止画像で表示されます。検索したい日付を選択したら、「録画テーブル検索」画面の下の再生ボタンで、前後の映像を確認します。

■ 検索メニュー



【時間指定検索】

録画した映像の最初または最後の画面を表示したり、日付と時刻で検索します。詳しくは「検索メニュー」-「②時間指定検索」（📄76ページ）を参照してください。

【クリップコピー ...】

録画データを切り出して保存します。詳しくは「クリップコピー」（📄85ページ）を参照してください。

【電子ズーム】

再生画面を拡大します。

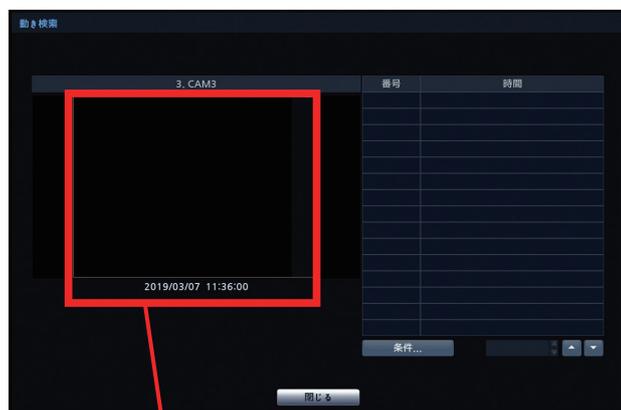
【低速再生】

再生速度を遅くします（×1、×1/2、×1/3、×1/4、×1/6 および×1/8）。

検索について（つづき）

動き検索

カメラを全画面で表示中に、検索メニューの[検索] - [動き検索] を選択すると「動き検索」画面が表示されます。



検索画面

[条件...] ボタンで設定した条件で検索した映像がリスト表示されます。見たい映像の日時を選択すると、検索画面に、選択した日時の映像が一時停止状態で表示されます。

[条件...] ボタン

ボタンを押すと、「動き検索条件」画面（本ページ）が表示され、細かい検索条件を設定し、動き検索の範囲を絞ることができます。

▲▼ボタン

リスト表示のページを選択します。ページ選択した後、空きエリアを選択するとページが確定します。

[▲] [▼] (スクロール) ボタン

上下ボタンで、リスト表示をスクロールします。

[閉じる]

ボタンを押すと、「動き検索」画面を閉じ、選択した日時の最初の画像を表示します。[再生/一時停止] ボタンを押すと、再生を開始します。[再生]ボタンを押すと、ライブ監視モードに戻ります。

■ 動き検索条件



動き検索の条件を設定します。

[開始]

[最初から] のチェックを外すと、日付と時刻を入力できます。[最初から] にチェックを入れると、すべての録画の始端日時を検索開始日時に設定します。★ を選択すると、ブックマークリストが表示され、選択したブックマークの日時を検索開始日時に設定します。

[終了]

[最後まで] のチェックを外すと、日付と時刻を入力できます。[最後まで] にチェックを入れると、すべての録画の終端日時を検索終了日時に設定します。★ を選択すると、ブックマークリストが表示され、選択したブックマークの日時を検索終了日時に設定します。

[タイプ]

選択すると、「動き検索」と「オブジェクト検索」のどちらかに設定できます。「動き検索」では定義したエリア内の動きを検知します。「オブジェクト検索」は、エリアとして定義した対象物が移動したことを検知します。

- 「動き検索」時
 - エリア : 192ブロック
 - 感度 : 3
 - 最小ブロック : 1
- 「オブジェクト検索」時
 - エリア : 192ブロック
 - 感度 : 3
 - 最小ブロック : 153

[エリア]

選択すると、エリア設定画面が表示されます。エリア設定画面は、選択したカメラの画像に重なって表示されます。ブロックを選択または解除して、エリアを設定します。

検索について（つづき）

メモ

- 動き検索したいエリアの設定は、「VMD」の設定と同じです。ブロックの設定について、設定メニューの [イベント] - [VMD] の [エリア] (☞30ページ) を参照してください。
- 「オブジェクト検索」のエリアを設定する場合、対象物の輪郭内側にエリアを設定してください。対象物の輪郭線上にブロックを配置すると「オブジェクト検索」ができないことがあります。エリアは対象物の中央もしくは輪郭内側に設定してください。

[感度]

検出感度を選択します。

「1」（低感度）～「5」（高感度）

[最小ブロック]

動き検出の最小検出ブロック数を設定します。

[決定]

ボタンを押すと、設定した検索条件で検索し結果を表示します。

[キャンセル]

ボタンを押すと、検索条件を変更を保存せずに終了します。

メモ

- 別のカメラの全画面表示に切り換え、動き自動検出を検索すると、以前の検索結果の削除確認画面が表示されます。

サムネイル検索

検索メニューの [検索] - [サムネイル検索] を選択すると「サムネイル検索」画面が表示されます。

サムネイルから特定の日付の録画映像を検索します。



◀▶ (単位切換) ボタン

ボタンを押すと、時間単位を切り換えることができます。

日、時間、分

◀ 日 ▶ (移動) ボタン

ボタンを押すと、時間単位で映像を前ページ、次ページに移動させることができます。

メモ

- 画面右メニューの ボタンを押してメニューから時間単位の切換えや、ページの移動ができます。
- 画面右メニューの ボタンを押して表示されるメニューの「最古時刻へ」や「カレンダーより選択」から特定の日付の映像を検索することができます。「カレンダーより選択」は「カレンダー検索」画面 (☞81ページ) を参照してください。
- 日付表示されているサムネイル画像をマウスでダブルクリックすると、ダブルクリック毎にサムネイル画像の時間単位を日→時間→分の順で細かくすることができます。

ブックマーク

検索メニューの「ブックマーク」を選択すると「ブックマーク」画面が表示されます。

「ブックマーク」画面では、ブックマークのリストを表示し、ブックマークを追加できます。



[+]

ボタンを押すと、現在の再生位置をブックマークリストに追加します。ブックマークは64個まで登録できます。

[タイトル]

選択し、ソフトキーボードでブックマーク名を入力します。

[日付/時間]

再生位置の日付時刻が表示されます。

[カメラ]

ブックマークリストに追加されたカメラ番号が表示されます。

[X]

選択したブックマークを削除します。

クリップコピー

クリップコピーでは、USBメモリーに録画映像をコピーできます。コピーした録画映像はPCで再生できます。クリップコピーには以下の2種類の方法があります。

- **クリップコピー** : クリップコピー画面で録画範囲などを指定してコピーする
- **A-Bクリップコピー** : 再生中に開始日時と終了日時を指定してコピーする (☞86ページ)

重要

- FAT32フォーマットのUSBメモリーをご使用ください。
- コピー中は、USBメモリーは外さないでください。コピー中にUSBメモリーを外すと、本機が正しく動作しなかったり、USBメモリーが故障したりすることがあります。コピー時に、エラーメッセージが表示される場合は、本機の電源を切って、再起動してください。
- USBメモリーのファイルシステムが故障すると、エラーメッセージは消えずに、再起動後もコピー準備中に自動的に再起動することがあります。その場合は、USBメモリーのリカバリープログラムを使用してファイルシステムを復旧するか、USBメモリーを再フォーマットしてください。

メモ

- パスワード認証付きのUSBメモリーは使用できません。
- クリップコピーをするとき、コピー処理の計算に時間がかかることがあります。処理時間はコピーするデータサイズに依存します。
- 2 GBを超える映像は、2 GB単位でファイル保存されます。例えば、6 GBの映像を保存する場合、2 GBごとに3ファイルに分けて保存されます。このとき、2 GBごとに「ディスクフォーマット中...」→「バックアップ中...」が繰り返し表示されます。
- コピー中は、システム終了、データ消去やディスクフォーマットはできません。
- コピーした録画映像は、指定した開始日時の数秒前から開始することがあります。
- コピーしたデータを再生するために、専用ソフトウェアをインストールする必要はありません。
- コピー期間中に、時刻補正された時間帯を含んで時間の重なりがあるときは、「範囲を選択してください」の表示がでます。この場合は「2: 範囲N ~ N+1」を選択するとすべてのデータがコピーできます。詳しくは「重複した時間の映像検索」(☞94ページ)を参照してください。
- オートログアウトの設定をしている場合、コピー中に設定時間を経過してもログアウトされません。コピー終了後設定時間を経過するとログアウトします。

クリップコピー

検索メニューの【保存】 - 【クリップコピー】を選択すると、「クリップコピー」画面が表示されます。



すると、ブックマークリストが表示され、選択したブックマークの日時をコピー開始日時に設定します。

【終了】

【最後まで】のチェックを外すと、日付と時刻を入力できます。【最後まで】にチェックを入れると、すべての録画の終端日時をコピー終了日時に設定します。【★】を選択すると、ブックマークリストが表示され、選択したブックマークの日時をコピー終了日時に設定します。

【カメラ】

選択すると、コピーしたいカメラを選択できます。

【パスワード】

選択すると、パスワード設定画面が表示されます。【使用】にチェックを入れ、コピーした録画映像を再生するのに必要なパスワードを設定します。

【コピー先】

選択すると、保存先のメディアを選択できます。

【コピー元】

コピー元を表示します。

【開始】

【最初から】のチェックを外すと、日付と時刻を入力できます。【最初から】にチェックを入れると、すべての録画の始端日時をコピー開始日時に設定します。【★】を選択

クリップコピー（つづき）

【ファイル名】

選択するとソフトキーボードが表示されます。保存するファイル名を入力します。「.exe」がファイル名に自動的に付加されます。

メモ

- ファイル名に、次の文字は使用できません：
¥、/、:、*、?、"、<、>、|、!、\$、%、;、'、`、（スペース）。

【開始】

ボタンを押すと、データ容量確認画面が表示されます。データ容量確認画面の「継続」ボタンを押すと、クリップコピーを開始します。USBメモリーに十分な空き容量がない場合でも、「継続」ボタンを押すと残容量内に保存できるだけのコピーを実施します。コピー開始後に表示される進行状況画面の「中止」ボタンを押すとコピーを終了します。

A-Bクリップコピー

任意の開始日時と終了日時を指定し、両日時間のデータをコピーすることができます。

再生中に、検索メニューの「コピー」 - 「A-B クリップコピー」を選択すると、開始日時が設定され、画面左下に「A-B」アイコンが表示されます。再生後に再度検索メニューの「コピー」 - 「A-B クリップコピー」を選択すると開始時刻と終了時刻が設定された「クリップコピー」画面が表示されます。

「クリップコピー」と同じ操作でデータを保存します。

■ コピーしたファイルの実行時に表示されるメッセージについて

コピーしたファイルを実行する場合、次の確認画面が表示されたときは、「はい」をクリックして許可してください。



【閉じる】

ボタンを押すとコピーを継続したまま画面を閉じ、再度クリップコピー画面の表示操作をすると、進行状況画面を表示します。

コピー完了時には確認画面が表示されます。

メモ

- 録画テーブルの上で、コピー範囲時間を指定し、左下のメニューから「クリップコピー」を選択すると指定の範囲をコピーできます。

ネットワーク設定を行う

本機の操作は、マウスを接続して操作する以外に、PCのウェブブラウザから行うことができます（一部の機能や設定を除きます）。本ページ以降では、ウェブブラウザからの操作方法とPCの事前準備などを説明します。

ウェブブラウザから本機を操作する場合、まず、設定画面の [ネットワーク] - [ブラウザ] の、「ブラウザを使用する」にチェックを入れます。次に、本機やPCのネットワーク設定を行う必要があります。PCのネットワーク環境が以下の場合、設定は不要です。接続完了後、ウェブブラウザから本機の設定および操作を行うことができます。

IPアドレス: 192.168.0.2 ~ 192.168.0.249、192.168.0.251 ~ 192.168.0.254

サブネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: 192.168.0.1

上記以外に設定されている場合、本機またはPCのネットワークの設定を行ってください。

本機のネットワーク設定を行う

本機のネットワーク設定は、設定メニューの [ネットワーク] - [LAN] で行います。操作方法など詳細については、89ページ以降をお読みください。

PCのネットワーク設定を行う

PCのTCP/IPの設定を本機の設定に合わせて変更します。本機を初期設定値（IPアドレス：192.168.0.250）で使用する場合は、PCのIPアドレスを「192.168.0.xxx（xxxは2～254。ただし、250（本機）のIPアドレスを除く）」に設定します。

ウェブブラウザの接続を行う

PCのウェブブラウザから本機へアクセスし、ライブ映像の監視や録画した映像の検索ができます。また、一部を除き、本機の設定も行えます。

Internet Explorerを管理者権限で起動し、アドレスバーに以下の情報を入力すると、ログイン画面が表示されます。

http://IPアドレス : ポート

IPアドレス : 本機のIPアドレス（☞設定メニューの [ネットワーク] - [LAN] を参照）

ポート : 本機に設定しているウェブブラウザのポート番号（初期値 : 12088）

（☞設定メニューの [ネットワーク] - [ブラウザ] を参照）

メモ

- 接続したいレコーダーのIPアドレスおよびウェブブラウザポート番号を、ネットワーク管理者から入手してください。
- ウェブブラウザは、Internet Explorerでのみ動作し、他のブラウザでは動作しません。
- Internet Explorerを管理者権限で起動しないときは、設定メニューを開けません。

ネットワーク設定を行う（つづき）

■ログイン



A screenshot of a 'LOGIN' dialog box. It has a title bar with the word 'LOGIN'. Below the title bar, there are two input fields: 'User' and 'Password'. At the bottom of the dialog box, there are two buttons: 'OK' and 'Cancel'.

[User]

本機に登録しているユーザー名

[Password]

本機に登録しているパスワード

[OK] ボタン

User, Passwordを入力し、ボタンを押しログインが成功するとウェブ監視ページがブラウザーに表示されます。

[Cancel] ボタン

ボタンを押すと、ウェブ画面を閉じるかどうかの確認画面が表示されます。

メモ

- ウェブブラウザー動作中は、ログイン画面は閉じないでください。ウェブ監視ページとウェブ検索ページの切り換え時にスクリプトエラーが発生し、ウェブブラウザーの再起動が必要になります。
- 本機のウェブページのバージョンアップ直後にアクセスする場合、Internet Explorerが以前のバージョンの情報を読み込むことがあります。この場合は、ツール→インターネットオプション→全般タブに移動し、インターネット一時ファイルを削除して、その後Internet Explorerを再起動してください。
- 初めてログインすると、「このWebサイトでActiveXコントロールのインストールがブロックされました。」と、映像表示や設定メニュー表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってActiveXをインストールしてください。
ActiveXは、「Web Control 1」, 「Web Control 2」の2つをインストールします。
- ActiveXのインストールは「コンピューターの管理者」権限のあるユーザーでログインし、ウェブブラウザーを管理者として実行する必要があります。
また、ユーザーアカウントに、2バイト文字（ひらがな・漢字など）を使用している場合はインストールができません。2バイト文字を含まない「コンピューターの管理者」権限のユーザーアカウントを別途作成し、再度インストールしてください。

ウェブ監視ページ

ウェブ監視ページは、ネットワーク経由で本機にアクセスし、離れた場所からライブ映像を監視したり、カメラを操作したりできます。



- ① **タイトルロゴ** : マウスカーソルを当てると、ウェブ監視ページのバージョンが表示されます。
- ② **Search** : 選択するとウェブ検索ページに移動します。(92ページ)
- ③ **Logout** : 選択すると、ログアウトします。このとき、ブラウザも自動で終了します。
- ④ **Mode** : 選択すると「描画モード」および「OSD 設定」が表示されます。
Drawing Mode (描画モード) : 画像描画モードを変更して表示速度を調整できます。
OSD Setup (OSD設定) : ウェブ監視ページのOSDの表示/非表示を切り換えできます。
- ⑤ **Save** : 選択すると、現在の画像をビットマップまたはJPEGフォーマットで保存できます。
- ⑥ **Status** : 選択すると、イベント、アラーム出力、システムチェックおよび録画状態の情報が表示されます。設定によっては表示されないアイコンがあります。

Status (状態) : 録画、再生、コピー状態を表示します。
 録画スケジュール設定 : オン、 オフ (グレー)
 再生/コピー機能 : 使用、 未使用 (グレー)
 録画確認 : 録画中、 録画なし (グレー)

メモ

- 「Status(状態)」を初めて選択すると、状態表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってActiveX「Web Control 3」をインストールしてください。
- ActiveXのインストールは「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし、ウェブブラウザを管理者として実行する必要があります。

Motion (動き)、Alarm-In (アラーム入力) : 動き自動検出およびアラーム入力端子の入力で検知したイベントを表示します。設定したイベント録画時間の間は、イベント検知の表示を継続します。

イベント検知、 イベント検知なし (グレー)

Alarm-Out (アラーム出力) : アラーム信号出力状態を表示します。

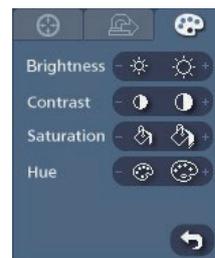
アラーム出力、 アラーム出力なし (グレー)

ウェブ監視ページ（つづき）

- Video Loss（ビデオロス）** : ビデオロス状態を表示します。
 ビデオロスなし、 ビデオロス（グレー）
- Video Blind（映像遮断）** : 映像遮断状態を表示します。
 映像遮断、 映像遮断なし（グレー）
- Check Alarm-In（アラーム入力確認）** : アラーム、録画機能の状態を表示します。
 通常、 エラー（グレー）
- Rec.from（録画開始）、Rec.to（終了）** : 録画期間を表示します。
- Version（バージョン）** : システムバージョン情報を表示します。

Log : 選択すると、表示中のイベントログ情報をテキストファイルとして保存します。

- ⑦  : 選択すると設定メニューを別ページで開きます。
 一部設定できない項目がありますが、メインモニターの本体設定メニューと同じように各種設定ができます。
- ⑧ **日付時刻エリア** : PCの日付と時刻が表示されます。
- ⑨ **カメラボタン** : カメラが選択され、緑の枠が表示されます。
- ⑩ **多画面選択ボタン** : 画面分割モードを選択します。画面分割を変更すると、現在の画面上で選択されたカメラが、新しい画面分割レイアウトの最初のセルに配置されます。
- ⑪  : 選択したカメラのパン、チルト、ズーム、アイリス、フォーカスおよびプリセット移動/登録を操作できます。
- ⑫  : アラーム出力を操作できます。
- ⑬  : 監視画像の輝度、コントラスト、彩度、および色相を調整できます。



メモ

- 変更した設定は録画している映像にも反映されます。

- ⑭ **イベント状態ウィンドウ** : 本機で検知したイベントのリストが表示されます。
- ⑮ **コンテキストメニュー** : ウェブ監視ページの画面上でカメラを選択し、マウスを右クリックすると、コンテキストメニュー画面が表示されます。



カメラタイトル変更 : カメラ名を変更できます。

音声オン/オフ : 選択すると「音声コントロールパネル」が表示され、ウェブブラウザでの音声通信が有効になります。

ウェブ監視ページ（つづき）



-  : 選択すると本機からウェブ監視ページに音声を送信できます。再度選択すると、音声の送信を停止します。
-  : 選択すると、ウェブ監視ページから本機に接続した増幅器付スピーカーで、ウェブ監視ページからのライブ音声を出力できます。再度選択すると、ライブ音声の出力を停止します。
-  と  の両方を選択すると、双方向音声通信が可能になります。
-  : 選択すると、音声通信が無効になります。

画面レート : 画面のサイズを以下のいずれかの方法で変更することができます。

画面にあわせる、画面アスペクト比にあわせる、1/2倍サイズ (×0.5)、1倍サイズ (×1)、2倍サイズ (×2)、4倍サイズ (×4)

ブロック現象改善 : 拡大画像の階段状(エイリアシング)効果を除外することで画像表示品質を向上させます。

Mouse PTZコントロール : 選択すると、マウスでカメラ画像を直接ドラッグしてPTZ動作させることができます。

メモ

- ウェブ監視ページでカメラタイトルを変更しても、本機で設定されたカメラ名は変更されません。
 - カメラタイトルを設定しない場合は、本機で設定されたカメラ名が表示されます。
 - ウェブ監視ページで、一度カメラタイトルを設定すると、次回同じPCからアクセスした時、設定したカメラタイトルが表示されます。
 - ウェブ監視ページで設定したカメラタイトルは、ウェブ検索ページにも反映されます。
 - 画面レートの各サイズは、実解像度です。
 - 画面レートの「4倍サイズ (×4)」はSDカメラのみ対応しています。
 - ウェブ監視ページは、最大10台のPCから同時にアクセスすることができます。
-

ウェブ検索ページ

ウェブ検索ページは、ネットワーク経由で本機にアクセスし、離れた場所から本機に録画された映像を検索できます。



- ① **タイトルロゴ** : マウスカーソルを当てると、ウェブ検索ページのバージョンが表示されます。
- ② **Watch** : 選択するとウェブ監視ページに移動します。(☞89ページ)
- ③ **Logout** : 選択すると、ログアウトします。
- ④ **Mode** : 選択すると「描画モード」および「OSD 設定」が表示されます。
Drawing Mode (描画モード) : 画像描画モードを変更して表示速度を調整できます。
OSD Setup (OSD設定) : ウェブ検索ページのOSDの表示/非表示を切り換えることができます。
- ⑤ **保存と印刷**
 - Save** : 録画データのビデオクリップを実行可能ファイルあるいは動画 (avi) 形式として選択し保存ができます。
 - Print** : 現在の画像をビットマップまたはJPEG ファイルフォーマットで保存します。
 - Print** : ご使用のPCに接続されているプリンターに現在の画像を出力して印刷します。
- ⑥ **Refresh** : 選択すると録画データを再読み込みします。
- ⑦ **Info** : 選択すると、イベント、アラーム出力、システムチェックおよび録画状態の情報が表示されます。内容については「ウェブ監視ページ」(☞89ページ) の⑥を参照してください。
- ⑧ **Settings** : 選択すると設定メニューを別ページで開きます。
一部設定できない項目がありますが、メインモニターの本体設定メニューと同じように各種設定ができます。
- ⑨ **日付時刻エリア** : 日付と時刻が表示されます。
- ⑩ **多画面選択ボタン** : 画面分割モードを選択します。
- ⑪ **画像処理** : 再生の一時停止中に以下の画像処理ができます。
 - Zoom** : 録画画像のズームアウトまたはズームインを行います。
 - Brightness** : 録画画像の輝度を調整します。
 - Filter** : 再生画像のぼかし、鮮明化、イコライズ、および補間を行います。
- ⑫ **Calendar** : 選択すると、カレンダー検索モードに入り、時間指定で録画データを検索します。
 - ・画面下のタイムテーブル (⑩参照) には、カレンダー上で選択した日の録画情報が表示されます。
 - ・同一の時間範囲内に2 つ以上の録画データが存在する場合、タイムテーブルの右上に表示されるプルダウンメニューから再生したい録画データを選択できます。
 - ・カレンダー上の任意の日付を選択すると、選択した日付における最新の録画画像が画面に表示されます。
 - ・**Time** : 選択すると、Time欄で指定した時刻の画像を表示できます。

ウェブ検索ページ (つづき)

- ⑬ **🔍** : 選択すると、イベント検索モードに入り「イベント検索」画面が表示されます。設定した条件でイベントログを検索します。



■ イベント検索



メモ

- 設定した条件により、イベントログの検索に時間がかかることがあります。

⑭ 再生機能ボタン

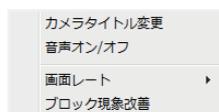
「早戻し」、「一時停止」、「再生」、「早送り」、「最初の画像に戻る」、「前の画像に戻る」、「次の画像に進む」、および「最後の画像に進む」の各ボタンで、再生操作を行います。

メモ

- 早送り再生に速度の段階はありませんが、録画時の録画レート (ips) によって、以下のように再生速度が異なります。
 - 30 ips録画場合：約2倍速
 - 5 ips録画の場合：約3倍速
 - 1 ips録画の場合：約15倍速

- ⑮ **タイムテーブル** : 選択したカメラの録画データが時間ごとに表示されます (1時間単位)。

- ⑯ **コンテキストメニュー** : ウェブ検索ページの画面上でカメラを選択し、マウスを右クリックすると、コンテキストメニュー画面が表示されます。



カメラタイトル変更 : カメラ名を変更できます。

音声オン/オフ : 単画面再生のとき、音声を出力します。

画面レート : 画面のサイズを以下のいずれかの方法で変更することができます。

画面にあわせる、画面アスペクト比にあわせる、1/2倍サイズ (×0.5)、1倍サイズ (×1)、2倍サイズ (×2)、4倍サイズ (×4)

ブロック現象改善 : 拡大画像の階段状 (エイリアシング) 効果を除外することで画像表示品質を向上させます。

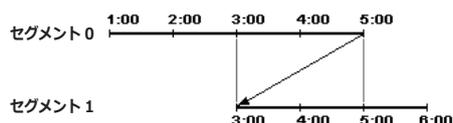
メモ

- ウェブ検索ページでカメラタイトルを変更しても、本機で設定されたカメラ名は変更されません。
- カメラタイトルを設定しない場合は、本機で設定されたカメラ名が表示されます。
- ウェブ検索ページで、一度カメラタイトルを設定すると、次回同じPCからアクセスした時、設定したカメラタイトが表示されます。
- ウェブ検索ページで設定したカメラタイトルは、ウェブ監視ページにも反映されます。
- 画面レートの各サイズは、実解像度です。
- 画面レートの「4倍サイズ (×4)」はSDカメラのみ対応しています。
- ウェブ検索ページは、最大2台のPCから同時にアクセスすることができます。

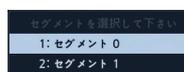
追補

重複した時間の映像検索

レコーダーの日付と時刻が、既存の録画映像よりも前の時刻にリセットされている場合、レコーダーは同じ時間範囲内で複数の映像ストリームを処理できます。この場合、特定のセグメントを選択することで、重複映像ストリームを個別に検索できます。例えば、レコーダーが1時から5時の間で映像を録画し、ユーザーが時間を5時から3時に戻して、6時まで録画を継続した場合、3時から5時まで2つの映像ストリームとセグメントができます。

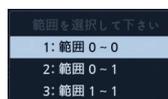


特定の時間または時間範囲を選んで、重複映像ストリームを検索できます。重複時間中の4時に録画された映像を検索したい場合、「日時指定検索」などの検索メニューを使用して、検索したいセグメントを選択します。



「イベントログ検索」または「動き検索」などの検索メニューを使用して、重複時間範囲の4時から5時の間に録画された映像を検索したい場合、重複する2つの開始時間と終了時間を設定できます。以下のように、検索時間範囲から、重複する開始時間および終了時間の一方を選択するよう求められます。

- 範囲0～0：セグメント0の4時から、セグメント0の5時まで
- 範囲0～1：セグメント0の4時から、セグメント1の5時まで
- 範囲1～1：セグメント1の4時から、セグメント1の5時まで



故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。

また、パナソニックサポートウェブサイト（<https://sol.panasonic.biz/security/support>）のFAQ（よくあるご質問）も参照してください。

現象	原因・対策	参照ページ
録画できない	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールは正しく設定されていますか？設定を確認してください。 	26
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 映像が録画されていますか？HDD内に録画された映像があるか確認してください。 	76
	<ul style="list-style-type: none"> ログインしているユーザーは再生できるユーザーグループですか？ログインしているユーザーのユーザーグループを確認してください。 	20
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ログインしているユーザーはカメラ画像を表示できるユーザーグループですか？ログインしているユーザーのユーザーグループを確認してください。 	20
	<ul style="list-style-type: none"> USBメモリを接続しても「バックアップする装置がありません」や「USB接続失敗」と表示される 	6
ウェブブラウザからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> 後面のネットワークポートに10BASE-T、100BASE-TXまたは1000BASE-Tケーブルが接続されていますか？接続されているか、確認してください。 	設置編
	<ul style="list-style-type: none"> ウェブブラウザからアクセス時に、後面のネットワークポートのアクセスLEDが点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。 	基本編
	<ul style="list-style-type: none"> 有効なIPアドレスが設定されていますか？システムの管理者にご確認ください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？次のようにPCのコマンドプロンプトからpingコマンドで接続を確認してください。 > ping 「本機のIPアドレス」 を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IPアドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？システムの管理者にご確認ください。 	-
ウェブブラウザの画像が更新されない	<ul style="list-style-type: none"> 設定したIPアドレスと設置先のネットワーク/サブネットマスクが矛盾していませんか？ 同一サブネット内に本機とクライアント（PC）が接続されている場合、本機とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？また、ウェブブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの混み具合などにより、画像の表示が止まる場合があります。キーボードの[F5]ボタンを押して、画像を再度取得してください。 	-
ウェブブラウザの画像更新速度が遅いレスポンスが遅い	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークが混雑していませんか？ネットワークが混雑しているとき、左記症状が発生します。 	-
ウェブブラウザで表示されないポップアップ表示がある	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 以外のポップアップブロッカーが働いている可能性があります。インストール状況を確認し、ポップアップブロッカーを解除してください。 	-
操作画面を表示したときに表示された認証ウィンドウを終了できない	<ul style="list-style-type: none"> 正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？ユーザー名、パスワードを確認してください。 	20

故障かな!?(つづき)

現象	原因・対策	参照ページ
USBメモリーが認識されない	<ul style="list-style-type: none"> ● USB3.0またはUSB2.0に対応した外付けHDDまたはUSBメモリーですか? ● FAT32形式でフォーマットされていますか? ● パスワード認証が付いていたり、複数パーティション構成になっていませんか? ● USBケーブルを接続したまま本機を起動すると、まれにUSBメモリーを認識しない場合があります。本機が起動してからケーブルを接続してください。 ● 容量は 2 TB以下ですか? 本機が認識するのは 2 TBまでです。 	-
ウェブブラウザでライブ画像もしくは再生画像が黒画となることがある。	<ul style="list-style-type: none"> ● PCのメモリが不足している可能性があります。ウェブブラウザ及び不要なソフトウェアを終了した後、再度ウェブブラウザを起動してレコーダーへ接続してください。 	-
コピーパネルに表示されるデータ容量が実際にコピーされるデータ容量と異なる。	<ul style="list-style-type: none"> ● コピーパネルに表示するデータ容量は目安のサイズです。音声データが録音されていると誤差が大きくなります。 	-
「ディスク温度」のアラームが発生する	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用温度範囲は+5℃～+40℃です。本機はHDDの内部温度情報と設定の [システム] - [システムイベント] - [ディスク温度] の温度設定値を元にアラームを発生させます。アラームが発生する場合は、HDD保護のために設置環境を見直し、周囲温度を+25℃程度とするようお勧めします。アラームが頻繁に発生する場合は、温度設定値を見直すか、販売店(設置工事店)にご相談ください。 	基本編
	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンが故障していないか確認してください。 	72
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の通風孔、放熱ファンをふさいでいないか、また、通風孔にほこりがたまっていないか確認してください。 	設置編
マウスカーソルが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルは正しく接続されていますか? 接続を確認してください。 	設置編

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ ワ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話からもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号